

学校コード F111110101945

注3

設置年度 平成 30年度

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

事前伺い

注2

埼玉大学 工学部 機械工学・システムデザイン学科

【認可】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 埼玉大学
令和4年5月1日現在

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

工学部

＜機械工学・システムデザイン学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	29
4. 既設大学等の状況	31
5. 教員組織の状況	33
6. 附帯事項等に対する履行状況等	69
7. その他全般的事項	71

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 埼玉大学

(2) 大学名

埼玉大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒338-8570

埼玉県さいたま市桜区下大久保255

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(ヤマグチ ヒロキ) 山口 宏樹 (平成26年4月)	(サカイ タカフミ) 坂井 貴文 (令和2年4月)	任期満了のため 令和2年4月1日(2)
学部長	(クロカワ ヒデキ) 黒川 秀樹 (平成30年4月)	(シゲハラ タカオミ) 重原 孝臣 (令和4年4月)	任期満了のため 令和4年4月1日(4)
		(マエヤマ ミツアキ) 前山 光明 (令和3年4月)	任期満了のため 令和3年4月1日(3)
		(ミズノ タケシ) 水野 毅 (令和2年4月)	任期満了のため 令和2年4月1日(2)
学科長等	(アライ ヨシオ) 荒居 善雄 (平成30年4月)	(アライ ヨシオ) 荒居 善雄 (令和4年4月)	任期満了のため 令和4年4月1日(4)
		(オバラ テツロウ) 小原 哲郎 (令和2年4月)	任期満了のため 令和2年4月1日(2)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和3年度に報告済の内容 → (3)

令和4年度に報告する内容 → (4)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください（作成方法は、事務連絡「令和4年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」を確認してください）。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和4年度までの5年間）ですが、完成年度を越えている場合は別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
工学部 機械工学・システムデザイン 学科 学士（工学）	工学関係	4 年	110 人	— 人	440 人	新規入学者を募集	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」）の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度までの平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	110 (-) [-]	-	110 (-) [-]	-	110 (-) [-]	-	110 (-) [-]	-	110 (-) [-]	-	1.03 倍	1.03 倍	
志願者数	519 (-) [33]	- (-) [-]	572 (-) [21]	- (-) [-]	532 (-) [13]	- (-) [-]	480 (-) [17]	- (-) [-]	444 (-) [6]	- (-) [-]			
受験者数	325 (-) [27]	- (-) [-]	361 (-) [14]	- (-) [-]	305 (-) [12]	- (-) [-]	306 (-) [15]	- (-) [-]	276 (-) [4]	- (-) [-]			
合格者数	131 (-) [4]	- (-) [-]	129 (-) [3]	- (-) [-]	125 (-) [3]	- (-) [-]	129 (-) [3]	- (-) [-]	130 (-) [1]	- (-) [-]			
B 入学者数	116 (-) [3]	- (-) [-]	114 (-) [2]	- (-) [-]	114 (-) [3]	- (-) [-]	113 (-) [2]	- (-) [-]	117 (-) [1]	- (-) [-]			
入学定員超過率 B/A	1.05		1.03		1.03		1.02		1.06				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出して下さい。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和4年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	116 [3] (-)	- [-] (-)	114 [2] (-)	- [-] (-)	114 [3] (-)	- [-] (-)	113 [2] (-)	- [-] (-)	117 [1] (-)	- [-] (-)	
2年次	/		114 [2] (-)	- [-] (-)	113 [2] (-)	- [-] (-)	114 [3] (-)	- [-] (-)	111 [2] (-)	- [-] (-)	
3年次			/		/		116 [3] (-)	- [-] (-)	114 [3] (-)	- [-] (-)	117 [3] (-)
4年次	/						/		/		116 [3] (-)
計			116 [3] (-)		228 [4] (-)						343 [8] (-)

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	116人	0人	平成30年度	0人	0人	
令和元年度	228人	2人	平成30年度	2人	1人	他の教育機関への入学(1人)[他の教育機関への入学(1人)]
			令和元年度	0人	0人	
令和2年度	343人	1人	平成30年度	0人	0人	
			令和元年度	1人	0人	他の教育機関への入学(1人)
			令和2年度	0人	0人	
令和3年度	457人	1人	平成30年度	0人	0人	
			令和元年度	1人	0人	他の教育機関への入学(1人)
			令和2年度	0人	0人	
			令和3年度	0人	0人	
令和4年度	483人	0人	平成30年度	0人	0人	
			令和元年度	0人	0人	
			令和2年度	0人	0人	
			令和3年度	0人	0人	
			令和4年度	0人	0人	
合計		4人		4人	1人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{116} = \boxed{0} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{228} = \boxed{0.87} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{343} = \boxed{0.29} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{457} = \boxed{0.21} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{483} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<工学部 機械工学・システムデザイン学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
外国語科目	英語 I (General English Skills 1a)	1①	1								兼22
	英語 I (General English Skills 1b)	1②	1								兼22
	英語 I (General English Skills 1c)	1③	1								兼22
	英語 I (General English Skills 1d)	1④	1								兼22
	英語 I (Academic Communication Skills 1a)	1①・③	1								兼4
	英語 I (Academic Communication Skills 1b)	1②・④	1								兼4
	英語 I (Academic Essay Writing 1a)	1①・③	1								兼3
	英語 I (Academic Essay Writing 1b)	1②・④	1								兼3
	英語 I (English for Specific Purposes 1a)	1①・③	1								兼4
	英語 I (English for Specific Purposes 1b)	1②・④	1								兼4
	英語 I (Basic English 1a)	1①	1								兼1
	英語 I (Basic English 1b)	1②	1								兼1
	英語 II (Academic English Skills 2a)	2①	1								兼22
	英語 II (Academic English Skills 2b)	2②	1								兼22
	英語 II (Academic English Skills 2c)	2③	1								兼22
	英語 II (Academic English Skills 2d)	2④	1								兼22
	英語 II (Academic Communication Skills 2a)	2①	1								兼2
	英語 II (Academic Communication Skills 2b)	2②	1								兼2
	英語 II (Academic Essay Writing 2a)	2①	1								兼2
	英語 II (Academic Essay Writing 2b)	2②	1								兼2
	英語 II (English for Specific Purposes 2a)	2①・③	1								兼4
	英語 II (English for Specific Purposes 2b)	2②・④	1								兼4
	英語 II (Basic English 2a)	2③	1								兼1
	英語 II (Basic English 2b)	2④	1								兼1
小計(24科目)	-										
基盤科目	哲学概説	1・2①・④	2								兼1
	宗教学概説	1・2②・③	2								兼1
	論理学概説	1・2②・③	2								兼2
	美学概説	1・2③・④	2								兼1
	芸術概説	1・2①・②	2								兼2
	表象論概説	1・2①・②	2								兼1
	日本史概説	1・2①・③	2								兼1
	考古学概説	1・2①・③	2								兼1
	東洋史概説	1・2③・④	2								兼2
	西洋史概説	1・2①・④	2								兼2
	文化人類学概説	1・2③・④	2								兼1
	言語学概説	1・2②・④	2								兼2
	日本文学・文化概説	1・2①・②	2								兼2
	アジア文学・文化概説	1・2①・②	2								兼1
	欧米文学・文化概説	1・2③	2								兼2
	ことばと文化	1・2②・③	2								兼2
	身体・スポーツ文化論入門	1・2②・③	2								兼2
小計(17科目)	-										
社会科学科目群	国際関係論概説	1・2①・②	2								兼1
	政治学概説	1・2③・④	2								兼1
	開発援助概論	1・2③・④	2								兼1
	開発と援助の潮流	1・2①・②	2								兼1
	法学概説	1・2②・④	2								兼2
	市民と憲法	1・2①・②・③・④	2								兼4
	経済学概説	1・2②・③	2								兼2
	小計(8科目)	-									

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
外国語科目	英語 I (General English Skills 1a)	1①	1								兼20
	英語 I (General English Skills 1b)	1②	1								兼20
	英語 I (General English Skills 1c)	1③	1								兼20
	英語 I (General English Skills 1d)	1④	1								兼20
	英語 I (Academic Communication Skills 1a)	1①・③	1								兼4
	英語 I (Academic Communication Skills 1b)	1②・④	1								兼4
	英語 I (Academic Essay Writing 1a)	1①・③	1								兼3
	英語 I (Academic Essay Writing 1b)	1②・④	1								兼3
	英語 I (English for Specific Purposes 1a)	1①・③	1								兼6
	英語 I (English for Specific Purposes 1b)	1②・④	1								兼6
	英語 I (Basic English 1a)	1①・③	1								兼2
	英語 I (Basic English 1b)	1②・④	1								兼2
	英語 II (Academic English Skills 2a)	2①	1								兼19
	英語 II (Academic English Skills 2b)	2②	1								兼19
	英語 II (Academic English Skills 2c)	2③	1								兼19
	英語 II (Academic English Skills 2d)	2④	1								兼19
	英語 II (Academic Communication Skills 2a)	2①・③	1								兼1
	英語 II (Academic Communication Skills 2b)	2②・④	1								兼1
	英語 II (Academic Essay Writing 2a)	2①・③	1								兼1
	英語 II (Academic Essay Writing 2b)	2②・④	1								兼1
	英語 II (English for Specific Purposes 2a)	2①・③	1								兼6
	英語 II (English for Specific Purposes 2b)	2②・④	1								兼6
	英語 II (Basic English 2a)	2①・③	1								兼2
	英語 II (Basic English 2b)	2②・④	1								兼2
小計(24科目)	-										
基盤科目	哲学概説	1・2①・④	2								兼4
	宗教学概説	1・2②・③	2								兼1
	論理学概説	1・2②・③	2								兼1
	美学概説	1・2③・④	2								兼1
	芸術概説	1・2①・②	2								兼6
	表象論概説	1・2①・②	2								兼1
	日本史概説	1・2①・③	2								兼2
	考古学概説	1・2①・③	2								兼1
	東洋史概説	1・2③・④	2								兼1
	西洋史概説	1・2①・④	2								兼1
	文化人類学概説	1・2③・④	2								兼1
	言語学概説	1・2②・④	2								兼1
	日本文学・文化概説	1・2①・②	2								兼1
	アジア文学・文化概説	1・2①・②	2								兼3
	欧米文学・文化概説	1・2③	2								兼1
	ことばと文化	1・2②・③	2								兼1
	身体・スポーツ文化論入門	1・2②・③	2								兼1
小計(17科目)	-										
社会科学科目群	国際関係論概説	1・2①・②	2								兼1
	政治学概説	1・2③・④	2								兼1
	開発協力概論	1・2③・④	2								兼1
	開発と援助の潮流	1・2①・②	2								兼1
	法学概説	1・2②・④	2								兼3
	市民と憲法	1・2①・②・③・④	2								兼4
	経済学概説	1・2②・③	2								兼2
	小計(8科目)	-									

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
社会科学科目群	地理学概説	1-2①-③	2								兼2	
	経営学概説	1-2①-③	2								兼2	
	会計学概説	1-2③-④	2								兼2	
	社会学概説	1-2①-③	2								兼2	
	心理学入門	1-2①-②	2								兼1	
	現代教育論	1-2②-③	2								兼2	
	現代発達科学入門	1-2①-②	2								兼1	
	教育臨床学入門	1-2②-③	2								兼2	
	社会調査法基礎	1-2①-②	2								兼1	
	統計学入門	1-2①-②	2								兼1	
	ジェンダー論入門	1-2②-④	2								兼1	
	小計(18科目)	-										
	自然科学科目群	教養物理学	1-2③		2							兼1
		教養化学	1-2③		2							兼1
		教養分子生物学	1-2④		2							兼1
		教養生物学	1-2②		2							兼1
		科学で探る地球	1-2①	2								兼1
		工学と社会(機械系)	1-2①	2	11	1						
工学と社会(電気電子系)		1-2③	2								兼5	
工学と社会(情報系)		1-2②	2								兼14	
工学と社会(応用化学系)		1-2④	2								兼1	
工学と社会(環境社会デザイン系)		1-2③	2								兼8	
生活と技術		1-2③	2								兼1	
精神保健学		1-2②	2								兼1	
健康科学		1-2③	2								兼1	
農学入門		1-2④	2								兼1	
小計(14科目)	-											
基盤科目	宗教と出会う	1-2①	2								兼1	
	「多様な性」と出会う・大学と出会う1	1-2②	2								兼1	
	男女共同参画社会を考える・大学と出会う2	1-2③	2								兼1	
	政治と出会う・大学と出会う3	1-2①-② ③-④	2								兼1	
	現代信仰論・大学と出会う4	1-2①-② ③-④	2								兼1	
	「戦争の記憶・平和の思想」と出会う	1-2①-②	2								兼1	
	福祉と出会う	1-2③-④	2								兼1	
	NGOと出会う	1-2	2								兼1	
	異なる文化と出会う	1-2	2								兼1	
	開発の概念	1-2③-④	2								兼1	
	社会調査法応用	1-2③	2								兼1	
	統計学基礎	1-2①	2								兼1	
	データ解析	1-2④	2								兼1	
	社会調査実習	1-2①-②	2								兼1	
	有機農業と自然と社会Ⅰ	1-2①-②	2								兼1	
	有機農業と自然と社会Ⅱ	1-2③-④	2								兼1	
	インターンシップa	1-2	2								兼1	
	インターンシップb	1-2	2								兼1	
	パーソナルファイナンス論	1-2①-②	2								兼1	
	課題解決型プログラムa	1-2①-②	2								兼1	
	課題解決型プログラムb	1-2③-④	2								兼1	
	課題解決型長期インターンシップ	1-2	2								兼1	
	課題解決型短期インターンシップ	1-2	1								兼1	
	地域創生を考えるa	1-2③	1								兼1	
	地域創生を考えるb	1-2④	1								兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
社会科学科目群	地理学概説	1-2①-④	2								兼1	
	経営学概説	1-2①-③	2								兼2	
	会計学概説	1-2③-④	2								兼2	
	社会学概説	1-2①-④	2								兼2	
	心理学入門	1-2①-②	2								兼2	
	現代教育論	1-2③	2								兼1	
	現代発達科学入門	1-2①-②	2								兼2	
	教育臨床学入門	1-2②-③	2								兼1	
	社会調査法基礎	1-2	2								兼1	
	統計学入門	1-2②	2								兼1	
	小計(17科目)	-										
自然科学科目群	教養物理学	1-2③		2							兼14	
	教養化学	1-2③		2							兼2	
	教養分子生物学	1-2④		2							兼1	
	教養生物学	1-2②		2							兼3	
	科学で探る地球	1-2③	2								兼1	
	工学と社会(機械工学系)	1-2①	2	10	3						兼1	
	工学と社会(電気電子物理工学系)	1-2③-④	2								兼10	
	工学と社会(情報系)	1-2②	2								兼14	
	工学と社会(応用化学系)	1-2④	2								兼7	
	工学と社会(環境社会デザイン系)	1-2③-④	2								兼8	
	生活と技術	1-2③	2								兼9	
精神保健学	1-2③	2								兼1		
健康科学	1-2④	2								兼1		
小計(13科目)	-											
基盤科目	社会調査法応用	1-2③	2								兼1	
	統計学基礎	1-2①	2								兼1	
	データ解析	1-2④	2								兼1	
	社会調査実習	1-2①-②	2								兼1	
	インターンシップa	1-2	2								兼1	
	インターンシップb	1-2	2								兼1	
	小計(6科目)	-										
	学際領域科目群	地域創生を考えるa	1-2③	1								兼1
		地域創生を考えるb	1-2④	1								兼1
		プログラミング入門	1-2 ①②	1								兼1
		ジェンダー論入門	1-2 ②④	2								兼1
		ダイバーシティ論入門	1-4④	2								兼1
		農学入門	1-2②	2								兼1
		開発援助における環境	1-2③④	2								兼1
		パーソナルファイナンス論	1-2③④	2								兼1
		知的財産概説	1-4④	2								兼4
		「戦争の記憶・平和の思想」と出会う	1-2②	2								兼1
NGOと出会う		1-2	2								兼1	
科学技術と出会う		1-2③④	2								兼2	
SDGsと出会う		1-4 ③④	2								兼1	
有機農業と自然と社会Ⅰ		1-2①-②	2								兼3	
有機農業と自然と社会Ⅱ	1-2③-④	2								兼3		
地域金融×地域創生入門	1-4④	2								兼1		
消費者教育講座	1-4④	2								兼1		
小計(17科目)	-											

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
基盤科目	テーマ科目群「社会と出会う」												
	小計(25科目)	-											
	理工系基礎教育科目(D1群)	D1a 微分積分学基礎Ⅰ	1①	2		1			1				
		D1a 微分積分学基礎Ⅱ	1②	2		1							
		D1a 線形代数基礎	1①	2			1						
		D1a ベクトル解析基礎	2①~②	2								兼1	
		D1a 確率・統計基礎	2③~④	2			1						
		D1b 電磁気学基礎	1③~④	2								兼1	
		D1b 力学基礎	1①~②	2								兼1	
		D1c 化学基礎	2①~②	2									兼1
D1c 物理化学Ⅰ		2③~④	2									兼1	
D1d 生物学基礎		2①~②	2									兼1	
D1e 理工学と現代社会		1①~②	2			1						兼13	
小計(11科目)	-												
工学部教養科目(D2群)	エネルギー・環境問題	2-3-4①~②	2									兼3	
	現代社会概説	2-3-4③~④	2									兼15	
	科学技術史	2-3-4①~②	2									兼1	
	技術者倫理	1②	2			1							
	情報倫理	2-3-4③~④	2			1						兼1	
	情報基礎	1②	2			1		1					
	工学入門セミナー	1③~④	2			1		1				兼12	
	科学技術英語	3①~②	2									兼1	
小計(8科目)	-												
学科専門基礎科目(D3群)	微分方程式Ⅰ	1③~④	2					1				兼1	
	情報処理概論	1③~④	2									兼1	
	プログラミング演習	1③~④	2			1		1				兼1	
	応用数学Ⅰ	1④	2			1		1					
	複素関数	2③	2			1							
	数値解析Ⅰ	2①~②	2			1		1					
	微分方程式Ⅱ	2④	2			1							
	基礎電気回路	2①	2									兼1	
小計(8科目)	-												
学科専門科目(D4群)	工業力学	1①	2			1							
	材料力学Ⅰ	1③	2			1		1					
	機械工学・システムデザイン入門	1①	2		12	7							
	機構学	1④	2		1								
	機械設計製図Ⅰ	2①~②	3									兼1	
	機械設計製図Ⅱ	2③~④	3			1		1					
	熱力学Ⅰ	2①	2		1								
	基礎流体力学	2③	2		1								
	制御工学Ⅰ	2③	2		1			1					
	機械工学実験Ⅰ	2③~④	3		12	7		10					
	材料力学Ⅱ	2①	2		1			1					
	機械力学	2②	2		1								
	計測工学	2②	2		1								
機械設計学	2③~④	2		1									
材料工学Ⅰ	2④	2		1									

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基盤科目	AL2(開発の概念)	1-2①-②	2									兼1
	AL2(宗教と出会う)	1-2③	2									兼1
	AL2(異なる文化と出会う)	1-2	2									兼1
	AL2(「多様な性」と出会う)	1-2②	2									兼1
	AL2(男女共同参画社会を考える)	1-2③	2									兼1
	AL2(現代信仰論)	1-2③-④	2									兼1
	AL2(地域と出会い、働くことを考える)	1-4①-②	2									兼1
	AL2(課題解決型プログラムa)	1-3①-②	2									兼2
	AL2(課題解決型プログラムb)	1-3①-②	2									兼1
	AL2(課題解決型長期インターンシップ)	1-2	2									兼1
小計(10科目)	-											
理工系基礎教育科目(D1群)	D1a 微分積分学基礎Ⅰ	1①	2			1	1					
	D1a 微分積分学基礎Ⅱ	1②	2			1	1					
	D1a 線形代数基礎	1①	2			1						
	D1a ベクトル解析基礎	2①~②	2							1		兼1
	D1a 確率・統計基礎	2③~④	2									兼1
	D1b 電磁気学基礎	1③~④	2									兼1
	D1b 力学基礎	1①~②	2									兼1
	D1c 化学基礎	2②	2									兼2
	D1c 物理化学Ⅰ	2③~④	2									兼1
	D1d 生物学基礎	2①~②	2									兼4
	D1e 理工学と現代社会	1①~②	2				2					兼17
小計(11科目)	-											
工学部教養科目(D2群)	エネルギー・環境問題	2-3-4①~②	2									兼4
	現代社会概説	2-3-4③~④	2									兼3
	科学技術史	2-3-4①~②	2			1	2					兼11
	技術者倫理	1②	2			1						
	情報倫理	2-3-4③~④	2									兼1
	情報基礎	1②	2			1		1				
	工学入門セミナー	1③~④	2					2				兼22
	科学技術英語	3①~②	2									兼1
小計(8科目)	-											
学科専門基礎科目(D3群)	微分方程式Ⅰ	1③~④	2				1			1		
	情報処理概論	1③~④	2							1		
	プログラミング演習	1③~④	2			1		1				
	応用数学Ⅰ	1④	2			1				1		兼1
	複素関数	2③	2			1				1		
	数値解析Ⅰ	2①~②	2			1		1		1		
	微分方程式Ⅱ	2④	2			1				1		
	基礎電気回路	2①	2									兼1
小計(8科目)	-											
学科専門科目(D4群)	工業力学	1①	2					1				
	材料力学Ⅰ	1③	2			1				1		
	機械工学・システムデザイン入門	1①	2		13	8						
	機構学	1④	2		1							
	機械設計製図Ⅰ	2①~②	3									兼1
	機械設計製図Ⅱ	2③~④	3					2				
	熱力学Ⅰ	2①	2		1							
	基礎流体力学	2③	2		1			1				
	制御工学Ⅰ	2③	2		1							
	機械工学実験Ⅰ	2③~④	3		13	9		5				
	材料力学Ⅱ	2①②	2		1			1				
	機械力学	2②	2		1							
	計測工学	2①	2		1			1				
機械設計学	2②	2		1								
材料工学Ⅰ	2④	2		1								

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	学科専門科目 (D4群)	固体力学	2④	2		1						
		熱力学Ⅱ	2③	2		1						
		機械工作実習	3③~④	3		1	1					
		機械工学実験Ⅱ	3①~②	3			12	7		10		
		メカトロニクスシステム	3②	2		1						
		伝熱工学	3②	2		1						
		流体力学	3①	2		1						
		生産加工学	3①	2		1						
		機械システムのモデリング	3②	2		1						
		機械運動学	3②	2			1					
		材料工学Ⅱ	3①	2		1	1					
		インターンシップ	3①~④	2		1	1					
		機械システム解析	3④	2		1						
		機械振動・音工学	3③	2		1						
		制御工学Ⅱ	3①	2		1			1			
		応用流体力学	3③	2		1						
		精密加工学	3③	2		1						
	自動車工学	3③	2		1		1					
	生産システム	3①	2		1							
	D4b	卒業研究A	4①~②	3			12	7		10		
卒業論文B		4③~④	3			12	7		10			
メカロボット論講		4①~②	1		6	1		6				
	メカノサイエンス論講	4①~②	1		6	1		6				
	小計(38科目)	-										
イノベーション科目 (D6群)	社会デザインプロセス論	2-3-4①~②	2								兼1	
	社会的意思決定論	2-3-4③~④	2								兼3	
	システムデザイン序論	3④	2		1							
	イノベーションとマーケティング	2-3-4①~②	2		1							
	機械と職業	3①~②	2								兼1	
	産業創成論	2-3-4③~④	2								兼15	
	技術者のための産業経営論	2-3-4①~②	2								兼15	
	ソーシャルデザイン演習	2-3-4③~④	2		1						兼1	
	ものづくり創造演習	3③~④	2		1						兼1	
	課題探索型セミナーⅠ	3①~②	3			12	7		10			
	課題探索型セミナーⅡ	3③~④	3			12	7		10			
課題解決型演習Ⅰ	2-3-4①~②	2								兼1		
課題解決型演習Ⅱ	2-3-4③~④	2								兼1		
科学技術と知的財産	3-4③~④	2								兼1		
	小計(14科目)	-										
合計(177科目)												
卒業要件及び履修方法												
外国語科目(英語)8単位(英語Ⅰから4単位、英語Ⅱから4単位を修得すること)、基盤科目から10単位(人文学科目群から4単位、社会科学科目群から4単位を修得すること)、専門科目から106単位、合計124単位以上修得すること。専門科目106単位には、以下の(1)~(7)の条件をすべて満たさなければならない。 (1) 必修科目44単位を修得すること。 (2) D1群から18単位、かつD1群D1a分野から2単位、D1群D1b分野から2単位、D1群D1c分野から2単位を修得すること。 (3) D2群から必修科目を含めて8単位を修得すること。 (4) D3群から12単位を修得すること。 (5) D4群D4a分野から50単位、D4群D4b分野から1単位を修得すること。 (6) D6群から必修科目を含めて10単位を修得すること。 (7) D4群とD6群の指定選択科目から22単位を修得すること。												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	学科専門科目 (D4群)	固体力学	2④	2		1						
		熱力学Ⅱ	2③	2		1						
		機械工作実習	3③~④	3		1	1					
		機械工学実験Ⅱ	3①~②	3			13	9		5		
		メカトロニクスシステム	3②	2		1	1					
		伝熱工学	3②	2		1						
		流体力学	3①	2		1						
		生産加工学	3①	2		1						
		機械システムのモデリング	3②	2		1	1					
		機械運動学	3②	2			1					
		材料工学Ⅱ	3①	2		1						
		インターンシップ	3①~④	2		1						
		機械システム解析	3④	2		1						
		機械振動・音工学	3③	2		1						
		制御工学Ⅱ	3①	2		1						
		応用流体力学	3③	2		1						
		精密加工学	3③	2		1						
	自動車工学	3③	2		1						兼1	
	生産システム	3④	2		1							
		マイクロ・ナノ加工学	4①	2		1			1			
D4b	卒業研究A	4①~②	3			13	9		5			
	卒業研究B	4③~④	3			13	9		5			
	メカロボット論講	4①~②	1		4	5						
	メカノサイエンス論講	4①~②	1		9	4			4			
	小計(39科目)	-										
イノベーション科目 (D6群)	社会デザインプロセス論	2-3-4①~②	2								兼6	
	社会的意思決定論	2-3-4③~④	2								兼1	
	システムデザイン序論	3④	2		1	1						
	イノベーションとマーケティング	2-3-4①~②	2		1						兼2	
	機械と職業	3①~②	2								兼1	
	産業創成論	2-3-4③~④	2								兼1	
	技術者のための産業経営論	2-3-4①~②	2								兼3	
	ソーシャルデザイン演習	2-3-4③~④	2		1							
	ものづくり創造演習	3③~④	2		1			13	9		5	
	課題探索型セミナーⅠ	3①~②	3			13	9		5			
	課題探索型セミナーⅡ	3③~④	3			13	9		5			
課題解決型演習Ⅰ	2-3-4①~②	2								兼2		
課題解決型演習Ⅱ	2-3-4③~④	2								兼1		
科学技術と知的財産	3-4③~④	2								兼1		
	小計(13科目)	-										
合計(183科目)												
卒業要件及び履修方法												
外国語科目(英語)8単位(英語Ⅰから4単位、英語Ⅱから4単位を修得すること)、基盤科目から10単位(人文学科目群から4単位、社会科学科目群から4単位を修得すること)、専門科目から106単位、合計124単位以上修得すること。専門科目106単位には、以下の(1)~(7)の条件をすべて満たさなければならない。 (1) 必修科目44単位を修得すること。 (2) D1群から18単位、かつD1群D1a分野から2単位、D1群D1b分野から2単位、D1群D1c分野から2単位を修得すること。 (3) D2群から必修科目を含めて8単位を修得すること。 (4) D3群から12単位を修得すること。 (5) D4群から50単位を修得すること。 (6) D6群から10単位を修得すること。 (7) D4群とD6群の指定選択科目から22単位を修得すること。												

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
外国語科目	英語 I (General English Skills 1a)	1①		1							兼10
	英語 I (General English Skills 1b)	1②		1							兼10
	英語 I (General English Skills 1c)	1③		1							兼10
	英語 I (General English Skills 1d)	1④		1							兼10
	英語 I (Academic Communication Skills 1a)	1①・③		1							兼4
	英語 I (Academic Communication Skills 1b)	1②・④		1							兼4
	英語 I (Academic Essay Writing 1a)	1①・③		1							兼3
	英語 I (Academic Essay Writing 1b)	1②・④		1							兼3
	英語 I (English for Specific Purposes 1a)	1①・③		1							兼4
	英語 I (English for Specific Purposes 1b)	1②・④		1							兼4
	英語 I (Basic English 1a)	1①		1							兼1
	英語 I (Basic English 1b)	1②		1							兼1
	英語 II (Academic English Skills 2a)	2①		1							兼10
	英語 II (Academic English Skills 2b)	2②		1							兼10
	英語 II (Academic English Skills 2c)	2③		1							兼10
	英語 II (Academic English Skills 2d)	2④		1							兼10
	英語 II (Academic Communication Skills 2a)	2①		1							兼4
	英語 II (Academic Communication Skills 2b)	2②		1							兼4
	英語 II (Academic Essay Writing 2a)	2①		1							兼3
	英語 II (Academic Essay Writing 2b)	2②		1							兼3
	英語 II (English for Specific Purposes 2a)	2①・③		1							兼4
	英語 II (English for Specific Purposes 2b)	2②・④		1							兼4
	英語 II (Basic English 2a)	2③		1							兼1
	英語 II (Basic English 2b)	2④		1							兼1
小計(24科目)	-										
基盤科目	哲学概説	1・2 ③・④		2							兼2
	宗教学概説	1・2②・③		2							兼1
	論理学概説	1・2②・③		2							兼2
	美学概説	1・2 ①・②		2							兼1
	芸術概説	1・2①・②		2							兼1
	表象論概説	1・2①・②		2							兼1
	日本史概説	1・2 ③・④		2							兼2
	考古学概説	1・2 ①・④		2							兼2
	東洋史概説	1・2③・④		2							兼1
	西洋史概説	1・2 ③・④		2							兼1
	文化人類学概説	1・2③・④		2							兼1
	言語学概説	1・2②・④		2							兼1
	日本文学・文化概説	1・2①・②		2							兼1
	アジア文学・文化概説	1・2① ②・③		2							兼3
	欧米文学・文化概説	1・2① ③・④		2							兼3
	ことばと文化	1・2①		2							兼1
	身体・スポーツ文化論入門	1・2②・③		2							兼2
小計(17科目)	-										
社会科学科目群	国際関係論概説	1・2 ③・④		2							兼1
	政治学概説	1・2③・④		2							兼1
	開発援助概論	1・2③・④		2							兼1
	開発と援助の潮流	1・2①・②		2							兼1
	法学概説	1・2 ②・③		2							兼2
	市民と憲法	1・2③・④		2							兼4
	経済学概説	1・2②・③		2							兼2

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
外国語科目	英語 I (General English Skills 1a)	1①		1							兼10
	英語 I (General English Skills 1b)	1②		1							兼10
	英語 I (General English Skills 1c)	1③		1							兼10
	英語 I (General English Skills 1d)	1④		1							兼10
	英語 I (Academic Communication Skills 1a)	1①・③		1							兼4
	英語 I (Academic Communication Skills 1b)	1②・④		1							兼4
	英語 I (Academic Essay Writing 1a)	1①・③		1							兼2
	英語 I (Academic Essay Writing 1b)	1②・④		1							兼2
	英語 I (English for Specific Purposes 1a)	1①・③		1							兼8
	英語 I (English for Specific Purposes 1b)	1②・④		1							兼8
	英語 I (Basic English 1a)	1①		1							兼1
	英語 I (Basic English 1b)	1②		1							兼1
	英語 II (Academic English Skills 2a)	2①		1							兼10
	英語 II (Academic English Skills 2b)	2②		1							兼10
	英語 II (Academic English Skills 2c)	2③		1							兼6
	英語 II (Academic English Skills 2d)	2④		1							兼6
	英語 II (Academic Communication Skills 2a)	2①		1							兼2
	英語 II (Academic Communication Skills 2b)	2②		1							兼2
	英語 II (Academic Essay Writing 2a)	2①		1							兼3
	英語 II (Academic Essay Writing 2b)	2②		1							兼3
	英語 II (English for Specific Purposes 2a)	2①・③		1							兼8
	英語 II (English for Specific Purposes 2b)	2②・④		1							兼8
	英語 II (Basic English 2a)	2③		1							兼1
	英語 II (Basic English 2b)	2④		1							兼1
小計(24科目)	-										
基盤科目	哲学概説	1・2 ①・③		2							兼2
	宗教学概説	1・2②・③		2							兼1
	論理学概説	1・2②・③		2							兼2
	美学概説	1・2 ①・②		2							兼1
	芸術概説	1・2①・②		2							兼6
	表象論概説	1・2①・②		2							兼1
	日本史概説	1・2①・③		2							兼2
	考古学概説	1・2①・③		2							兼1
	東洋史概説	1・2 ②・④		2							兼3
	西洋史概説	1・2③		2							兼1
	文化人類学概説	1・2③・④		2							兼1
	言語学概説	1・2②・④		2							兼1
	日本文学・文化概説	1・2①・②		2							兼1
	アジア文学・文化概説	1・2 ②・③		2							兼3
	欧米文学・文化概説	1・2 ②・③		2							兼3
	ことばと文化	1・2③		2							兼1
	身体・スポーツ文化論入門	1・2②・③		2							兼2
小計(17科目)	-										
社会科学科目群	国際関係論概説	1・2④		2							兼1
	政治学概説	1・2③・④		2							兼1
	開発援助概論	1・2③・④		2							兼1
	開発と援助の潮流	1・2①・②		2							兼1
	法学概説	1・2 ②・③		2							兼2
	市民と憲法	1・2③・④		2							兼4
	経済学概説	1・2②・③		2							兼2

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教	准教	講	助	助		
社会科学科目群	地理学概説	1-2③④	2									兼1
	経営学概説	1-2③④	2									兼2
	会計学概説	1-2③④	2									兼2
	社会学概説	1-2③④	2									兼2
	心理学入門	1-2③④	2									兼1
	現代教育論	1-2③④	2									兼2
	現代発達科学入門	1-2③④	2									兼2
	教育臨床学入門	1-2③④	2									兼1
	社会調査法基礎	1-2③④	2									兼1
	統計学入門	1-2③④	2									兼1
	ジェンダー論入門	1-2③④	2									兼1
	小計(18科目)	-										
	自然科学科目群	教養物理学	1-2③		2							
教養化学		1-2③		2								兼1
教養分子生物学		1-2④		2								兼1
教養生物学		1-2②		2								兼1
科学で探る地球		1-2①	2									兼1
工学と社会(機械工学系)		1-2①	2	11	1							兼5
工学と社会(電気電子物理工学系)		1-2③④	2									兼14
工学と社会(情報系)		1-2②	2									兼1
工学と社会(応用化学系)		1-2②④	2									兼10
工学と社会(環境社会デザイン系)		1-2①②③	2									兼1
生活と技術		1-2③	2									兼1
精神保健学		1-2②	2									兼1
健康科学		1-2①	2									兼1
農学入門	1-2②	2									兼1	
小計(14科目)	-											
基盤科目	宗教と出会う	1-2①	2									兼1
	「多様な性」と出会う・大学と出会う1	1-2②	2									兼1
	男女共同参画社会を考える・大学と出会う2	1-2③	2									兼1
	現代信仰論・大学と出会う4	1-2③④	2									兼1
	「戦争の記憶・平和の思想」と出会う	1-2③④	2									兼1
	福祉と出会う	1-2③④	2									兼1
	NGOと出会う	1-2	2									兼1
	異なる文化と出会う	1-2	2									兼1
	開発の概念	1-2③④	2									兼1
	社会調査法応用	1-2③	2									兼1
	統計学基礎	1-2①	2									兼1
	データ解析	1-2④	2									兼1
	社会調査実習	1-2③④	2									兼1
	有機農業と自然と社会Ⅰ	1-2③④	2									兼1
	有機農業と自然と社会Ⅱ	1-2③④	2									兼1
	インターンシップa	1-2	2									兼1
	インターンシップb	1-2	2									兼1
	パーソナルファイナンス論	1-2③④	2									兼1
	課題解決型プログラムa	1-2③④	2									兼1
	課題解決型プログラムb	1-2③④	2									兼1
	課題解決型長期インターンシップ	1-2	2									兼1
	地域創生を考えるa	1-2③	1									兼1
地域創生を考えるb	1-2④	1									兼1	
科学技術と出会う	1-2③④	2									兼2	
小計(24科目)	-											

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教	准教	講	助	助		
社会科学科目群	地理学概説	1-2③④	2									兼1
	経営学概説	1-2③④	2									兼2
	会計学概説	1-2③④	2									兼2
	社会学概説	1-2③④	2									兼2
	心理学入門	1-2③④	2									兼2
	現代教育論	1-2③④	2									兼2
	現代発達科学入門	1-2③④	2									兼1
	教育臨床学入門	1-2③④	2									兼3
	社会調査法基礎	1-2③④	2									兼1
	統計学入門	1-2③④	2									兼1
	ジェンダー論入門	1-2③④	2									兼1
	小計(18科目)	-										
	自然科学科目群	教養物理学	1-2③		2							
教養化学		1-2③		2								兼2
教養分子生物学		1-2④		2								兼1
教養生物学		1-2②		2								兼1
科学で探る地球		1-2①	2									兼1
工学と社会(機械工学系)		1-2①	2	10	2							兼9
工学と社会(電気電子物理工学系)		1-2③④	2									兼14
工学と社会(情報系)		1-2②	2									兼2
工学と社会(応用化学系)		1-2②④	2									兼8
工学と社会(環境社会デザイン系)		1-2①②③	2									兼1
生活と技術		1-2③	2									兼1
精神保健学		1-2②	2									兼1
健康科学		1-2④	2									兼1
農学入門	1-2②	2									兼1	
小計(14科目)	-											
基盤科目	宗教と出会う	1-2①	2									兼1
	「多様な性」と出会う・大学と出会う1	1-2②	2									兼1
	男女共同参画社会を考える・大学と出会う2	1-2③	2									兼1
	現代信仰論・大学と出会う4	1-2③④	2									兼1
	「戦争の記憶・平和の思想」と出会う	1-2③④	2									兼1
	福祉と出会う	1-2③④	2									兼1
	NGOと出会う	1-2	2									兼1
	異なる文化と出会う	1-2	2									兼1
	開発の概念	1-2③④	2									兼1
	社会調査法応用	1-2③	2									兼1
	統計学基礎	1-2①	2									兼1
	データ解析	1-2④	2									兼1
	社会調査実習	1-2③④	2									兼1
	有機農業と自然と社会Ⅰ	1-2③④	2									兼1
	有機農業と自然と社会Ⅱ	1-2③④	2									兼1
	インターンシップa	1-2	2									兼1
	インターンシップb	1-2	2									兼1
	パーソナルファイナンス論	1-2③④	2									兼1
	課題解決型プログラムa	1-2③④	2									兼1
	課題解決型プログラムb	1-2③④	2									兼1
	課題解決型長期インターンシップ	1-2	2									兼1
	地域創生を考えるa	1-2③	1									兼1
地域創生を考えるb	1-2④	1									兼1	
科学技術と出会う	1-2③④	2									兼2	
地域金融×地域創生入門	1-4①②	2									兼3	
知的財産概説	1-4③④	2									兼1	
地域と出合い、働くことを考える	1-4未定	2									兼1	
消費者教育講座	1-4⑤	2									兼1	
ダイバーシティ論入門	1-4⑥⑦	2									兼1	
小計(29科目)	-											

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
理工系基礎教育科目 (D1群)	微分積分学基礎 I	1①	2		1			1			
	微分積分学基礎 II	1②	2		1			1			
	線形代数基礎	1①	2			1			1		
	ベクトル解析基礎	2①~②	2								兼1
	確率・統計基礎	2③~④	2								兼1
	電磁気学基礎	1③~④	2								兼1
	力学基礎	1①~②	2								兼1
	化学基礎	2①~②	2								兼1
	物理化学 I	2③~④	2								兼1
	生物学基礎	2①~②	2								兼1
	理工学と現代社会	1①~②	2			1					兼10
小計(11科目)	-										
工学部教養科目 (D2群)	エネルギー環境問題	2-3-4 ①~②	2								兼3
	現代社会概説	2-3-4 ③~④	2		3						兼12
	科学技術史	2-3-4 ①~②	2								兼1
	技術者倫理	1②	2		1						兼1
	情報倫理	2-3-4 ③~④	2			1					兼1
	情報基礎	1②	2					2			兼1
	工学入門セミナー	1③~④	2			1		1			兼22
	科学技術英語	3①~②	2								兼1
小計(8科目)	-										
学科専門基礎科目 (D3群)	微分方程式 I	1③~④	2					1			兼1
	情報処理概論	1③~④	2								兼1
	プログラミング演習	1③~④	2			1		1			兼1
	応用数学 I	1④	2			1		1			兼1
	複素関数	2③	2			1					兼1
	数値解析 I	2①~②	2			1		1			兼1
	微分方程式 II	2④	2			1					兼1
	基礎電気回路	2①	2								兼1
小計(8科目)	-										
学科専門科目 (D4群)	工業力学	1①	2			1					
	材料力学 I	1③	2			1		1			
	機械工学・システムデザイン入門	1①	2		12	7					
	機構学	1④	2		1						兼1
	機械設計製図 I	2①~②	3								
	機械設計製図 II	2③~④	3			2					
	熱力学 I	2①	2		1						
	基礎流体力学	2③	2		1						
	制御工学 I	2③	2		2						
	機械工学実験 I	2③~④	3		12	7		8			
	材料力学 II	2①	2		1			1			
	機械力学	2②	2		1						
	計測工学	2②	2		1						
	機械設計学	2③~④	2			1					
	材料工学 I	2④	2		1						
	固体力学	2④	2		1						
	熱力学 II	2③	2		1						
	機械工作実習	3③~④	3		1	1					
	機械工学実験 II	3①~②	3		12	7		8			
	メカトロニクスシステム	3②	2		1						
伝熱工学	3②	2		1							
流体力学	3①	2		1							
生産加工学	3①	2		1							
機械システムのモデリング	3②	2		1							
機械運動学	3②	2		1							
材料工学 II	3①	2		1	1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
理工系基礎教育科目 (D1群)	微分積分学基礎 I	1①	2		1	1					
	微分積分学基礎 II	1②	2		1	1					
	線形代数基礎	1①	2			1					
	ベクトル解析基礎	2①~②	2							1	兼1
	確率・統計基礎	2③~④	2								兼1
	電磁気学基礎	1③~④	2								兼1
	力学基礎	1①~②	2								兼1
	化学基礎	2①~②	2								兼2
	物理化学 I	2③~④	2								兼1
	生物学基礎	2①~②	2								兼3
	理工学と現代社会	1①~②	2			1					兼10
小計(11科目)	-										
工学部教養科目 (D2群)	エネルギー環境問題	2-3-4 ①~②	2								兼4
	現代社会概説	2-3-4 ③~④	2								兼1
	科学技術史	2-3-4 ①~②	2			1					兼12
	技術者倫理	1②	2		1						兼1
	情報倫理	2-3-4 ③~④	2			1					兼1
	情報基礎	1②	2					2			兼1
	工学入門セミナー	1③~④	2			1		1			兼16
	科学技術英語	3①~②	2								兼1
小計(8科目)	-										
学科専門基礎科目 (D3群)	微分方程式 I	1③~④	2						1		兼1
	情報処理概論	1③~④	2							1	兼1
	プログラミング演習	1③~④	2							1	兼1
	応用数学 I	1④	2			1					兼1
	複素関数	2③	2			1					兼1
	数値解析 I	2①~②	2			1		1			兼1
	微分方程式 II	2④	2			1					兼1
	基礎電気回路	2①	2								兼1
小計(8科目)	-										
学科専門科目 (D4群)	工業力学	1①	2						1		
	材料力学 I	1③	2						1		
	機械工学・システムデザイン入門	1①	2		11	11					
	機構学	1④	2		1						兼1
	機械設計製図 I	2①~②	3								
	機械設計製図 II	2③~④	3			2					
	熱力学 I	2①	2		1						
	基礎流体力学	2③	2		1						
	制御工学 I	2③	2		2						
	機械工学実験 I	2③~④	3		11	11		6			
	材料力学 II	2①	2		1			1			
	機械力学	2②	2		1						
	計測工学	2②	2		2						兼1
	機械設計学	2③~④	2			1					
	材料工学 I	2④	2		1						
	固体力学	2④	2		1						
	熱力学 II	2③	2		1						
	機械工作実習	3③~④	3		1	1			1		
	機械工学実験 II	3①~②	3		11	11		6			
	メカトロニクスシステム	3②	2		1						
伝熱工学	3②	2		1							
流体力学	3①	2		1							
生産加工学	3①	2		1							
機械システムのモデリング	3②	2		1	1						
機械運動学	3②	2		1							
材料工学 II	3①	2		1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	学科専門科目 (D4群)	インターンシップ	3①~④	2			1	1				
		機械システム解析	3④	2			1					
		機械振動・音工学	3③	2			1					
		制御工学Ⅱ	3①	2			2			1		
		応用流体力学	3③	2			1					
		精密加工学	3③	2			1					
		自動車工学	3③	2					1			
		生産システム	3①	2					1			
		卒業研究A	4①~②	3			12	8		6		
		卒業研究B	4③~④	3			12	8		6		
	マイクロ・ナノ加工学	4①	2				1		1			
	D4b	メカロボット論	4①~②	1			5			3		
		メカノサイエンス論	4①~②	1			7	3		3		
		小計(39科目)	-									
	イノベーション科目 (D6群)	社会デザインプロセス論	2-3-4①~②	2								兼1
		社会的意思決定論	2-3-4③~④	2								兼3
		システムデザイン序論	3④	2			1					
		イノベーションとマーケティング	2-3-4	2			1					
		機械と職業	3①~②	2								兼1
		産業創成論	2-3-4③~④	2								兼15
技術者のための産業経営論		2-3-4①~②	2								兼15	
ソーシャルデザイン演習		2-3-4	2			1					兼1	
ものづくり創造演習		3③~④	2			1					兼1	
課題探索型セミナーⅠ		3①~②	3			12	7		10			
課題探索型セミナーⅡ	3③~④	3			12	7		10				
課題解決型演習Ⅰ	2-3-4①~②	2								兼1		
課題解決型演習Ⅱ	2-3-4③~④	2								兼1		
科学技術と知的財産	3+4③~④	2								兼1		
	小計(14科目)	-										
	合計(177科目)	-										
卒業要件及び履修方法												
外国語科目(英語)8単位(英語Ⅰから4単位、英語Ⅱから4単位を修得すること)、基盤科目から10単位(人文学科目群から4単位、社会科学科目群から4単位を修得すること)、専門科目から106単位、合計124単位以上修得すること。専門科目106単位には、以下の(1)~(7)の条件をすべて満たさなければならない。 (1) 必修科目44単位を修得すること。 (2) D1群から18単位、かつD1群D1a分野から2単位、D1群D1b分野から2単位、D1群D1c分野から2単位を修得すること。 (3) D2群から必修科目を含めて8単位修得すること。 (4) D3群から12単位を修得すること。 (5) D4群D4a分野から50単位、D4群D4b分野から1単位を修得すること。 (6) D6群から必修科目を含めて10単位を修得すること。 (7) D4群とD6群の指定選択科目から22単位を修得すること。												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	学科専門科目 (D4群)	インターンシップ	3①~④	2				1				
		機械システム解析	3④	2			1					
		機械振動・音工学	3③	2			1					
		制御工学Ⅱ	3①	2			2					
		応用流体力学	3③	2			1					
		精密加工学	3③	2					1			
		自動車工学	3③	2								兼1
		生産システム	3①	2					1			
		卒業研究A	4①~②	3			11	11		6		
		卒業研究B	4③~④	3			11	11		6		
	マイクロ・ナノ加工学	4①	2				1		1			
	D4b	メカロボット論	4①~②	1			5	5		1		
		メカノサイエンス論	4①~②	1			6	6		5		
		小計(39科目)	-									
	イノベーション科目 (D6群)	社会デザインプロセス論	2-3-4①~②	2								兼1
		社会的意思決定論(未開講)	2-3-4③~④	2								兼3
		システムデザイン序論	3④	2			1					
		イノベーションとマーケティング(未開講)	2-3-4	2			1					
		機械と職業	3①~②	2								兼1
		産業創成論	2-3-4③~④	2								兼1
技術者のための産業経営論		2-3-4①~②	2								兼3	
ソーシャルデザイン演習(未開講)		2-3-4	2			1						
ものづくり創造演習		3③~④	2			1						
課題探索型セミナーⅠ		3①~②	3			11	11		6			
課題探索型セミナーⅡ	3③~④	3			11	11		6				
課題解決型演習Ⅰ(未開講)	2-3-4①~②	2								兼1		
課題解決型演習Ⅱ	2-3-4③~④	2								兼2		
科学技術と知的財産	3+4③~④	2								兼1		
	小計(14科目)	-										
	合計(182科目)	-										
卒業要件及び履修方法												
外国語科目(英語)8単位(英語Ⅰから4単位、英語Ⅱから4単位を修得すること)、基盤科目から10単位(人文学科目群から4単位、社会科学科目群から4単位を修得すること)、専門科目から106単位、合計124単位以上修得すること。専門科目106単位には、以下の(1)~(7)の条件をすべて満たさなければならない。 (1) 必修科目44単位を修得すること。 (2) D1群から18単位、かつD1群D1a分野から2単位、D1群D1b分野から2単位、D1群D1c分野から2単位を修得すること。 (3) D2群から必修科目を含めて8単位修得すること。 (4) D3群から12単位を修得すること。 (5) D4群D4a分野から50単位、D4群D4b分野から1単位を修得すること。 (6) D6群から必修科目を含めて10単位を修得すること。 (7) D4群とD6群の指定選択科目から22単位を修得すること。												

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
外国語科目	英語 I (General English Skills 1a)	1①		1							兼11
	英語 I (General English Skills 1b)	1②		1							兼11
	英語 I (General English Skills 1c)	1③		1							兼11
	英語 I (General English Skills 1d)	1④		1							兼11
	英語 I (Academic Communication Skills 1a)	1①・③		1							兼4
	英語 I (Academic Communication Skills 1b)	1②・④		1							兼4
	英語 I (Academic Essay Writing 1a)	1①・③		1							兼2
	英語 I (Academic Essay Writing 1b)	1②・④		1							兼2
	英語 I (English for Specific Purposes 1a)	1①・③		1							兼7
	英語 I (English for Specific Purposes 1b)	1②・④		1							兼7
	英語 I (Basic English 1a)	1①		1							兼1
	英語 I (Basic English 1b)	1②		1							兼1
	英語 II (Academic English Skills 2a)	2①		1							兼11
	英語 II (Academic English Skills 2b)	2②		1							兼11
	英語 II (Academic English Skills 2c)	2③		1							兼7
	英語 II (Academic English Skills 2d)	2④		1							兼7
	英語 II (Academic Communication Skills 2a)	2①		1							兼2
	英語 II (Academic Communication Skills 2b)	2②		1							兼2
	英語 II (Academic Essay Writing 2a)	2①		1							兼2
	英語 II (Academic Essay Writing 2b)	2②		1							兼2
	英語 II (English for Specific Purposes 2a)	2①・③		1							兼7
	英語 II (English for Specific Purposes 2b)	2②・④		1							兼7
	英語 II (Basic English 2a)	2③		1							兼1
	英語 II (Basic English 2b)	2④		1							兼1
小計(24科目)	-										
基盤科目	哲学概説	1-2 ①・②		2							兼2
	宗教学概説	1-2 ②・④		2							兼1
	論理学概説	1-2 ②・④		2							兼1
	美学概説	1-2 ③・④		2							兼1
	芸術概説	1-2①・②		2							兼5
	表象論概説	1-2①・②		2							兼1
	日本史概説	1-2①・③		2							兼1
	考古学概説	1-2①・③		2							兼1
	東洋史概説	1-2①		2							兼1
	西洋史概説	1-2 ③・④		2							兼2
	文化人類学概説	1-2③・④		2							兼1
	言語学概説	1-2②・④		2							兼1
	日本文学・文化概説	1-2 ①・④		2							兼1
	アジア文学・文化概説	1-2 ①・②		2							兼3
	欧米文学・文化概説	1-2②		2							兼2
	ことばと文化	1-2①		2							兼1
	身体・スポーツ文化論入門	1-2④		2							兼1
小計(17科目)	-										
社会科学科目群	国際関係論概説	1-2③ ④		2							兼1
	政治学概説	1-2③・④		2							兼1
	開発援助概論	1-2③・④		2							兼1
	開発と援助の潮流	1-2①		2							兼1
	法学概説	1-2③・④		2							兼3
	市民と憲法	1-2③・④		2							兼4
	経済学概説	1-2②		2							兼1

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
外国語科目	英語 I (General English Skills 1a)	1①		1							兼21
	英語 I (General English Skills 1b)	1②		1							兼21
	英語 I (General English Skills 1c)	1③		1							兼21
	英語 I (General English Skills 1d)	1④		1							兼21
	英語 I (Academic Communication Skills 1a)	1①・③		1							兼4
	英語 I (Academic Communication Skills 1b)	1②・④		1							兼4
	英語 I (Academic Essay Writing 1a)	1①・③		1							兼3
	英語 I (Academic Essay Writing 1b)	1②・④		1							兼3
	英語 I (English for Specific Purposes 1a)	1①・③		1							兼7
	英語 I (English for Specific Purposes 1b)	1②・④		1							兼7
	英語 I (Basic English 1a)	1①		1							兼1
	英語 I (Basic English 1b)	1②		1							兼1
	英語 II (Academic English Skills 2a)	2①		1							兼21
	英語 II (Academic English Skills 2b)	2②		1							兼21
	英語 II (Academic English Skills 2c)	2③		1							兼21
	英語 II (Academic English Skills 2d)	2④		1							兼21
	英語 II (Academic Communication Skills 2a)	2①・③		1							兼1
	英語 II (Academic Communication Skills 2b)	2②・④		1							兼1
	英語 II (Academic Essay Writing 2a)	2①・③		1							兼1
	英語 II (Academic Essay Writing 2b)	2②・④		1							兼1
	英語 II (English for Specific Purposes 2a)	2①・③		1							兼7
	英語 II (English for Specific Purposes 2b)	2②・④		1							兼7
	英語 II (Basic English 2a)	2③		1							兼1
	英語 II (Basic English 2b)	2④		1							兼1
小計(24科目)	-										
基盤科目	哲学概説	1-2③ ④		2							兼2
	宗教学概説	1-2 ②・④		2							兼1
	論理学概説	1-2③ ④		2							兼1
	美学概説	1-2③・④		2							兼1
	芸術概説	1-2①・②		2							兼6
	表象論概説	1-2①・②		2							兼1
	日本史概説	1-2①・③		2							兼2
	考古学概説	1-2①・③		2							兼2
	東洋史概説	1-2①		2							兼1
	西洋史概説	1-2①		2							兼1
	文化人類学概説	1-2③・④		2							兼1
	言語学概説	1-2②・④		2							兼2
	日本文学・文化概説	1-2③ ④		2							兼1
	アジア文学・文化概説	1-2 ③・④		2							兼3
	欧米文学・文化概説	1-2②		2							兼2
	ことばと文化	1-2①		2							兼1
	身体・スポーツ文化論入門	1-2④		2							兼1
小計(17科目)	-										
社会科学科目群	国際関係論概説	1-2③ ④		2							兼1
	政治学概説	1-2③・④		2							兼1
	開発協力概論	1-2③・④		2							兼1
	開発と援助の潮流	1-2		2							兼1
	法学概説	1-2 ③・④		2							兼3
	市民と憲法	1-2③・④		2							兼4
	経済学概説	1-2②		2							兼2

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担	
			必修	選択	自由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
社会科学科目群	地理学概説	1-2 ③、④		2								兼1
	経営学概説	1-2 ①、③		2								兼2
	会計学概説	1-2③、④		2								兼1
	社会学概説	1-2③、④		2								兼2
	心理学入門	1-2①、②		2								兼1
	現代教育論	1-2③		2								兼1
	現代発達科学入門	1-2①、②		2								兼1
	教育臨床学入門	1-2 ①、③		2								兼1
	社会調査法基礎	1-2③		2								兼1
	統計学入門	1-2②		2								兼1
	ジェンダー論入門	1-2②、④		2								兼1
小計(18科目)	-											
自然科学科目群	教養物理学	1-2③			2							兼1
	教養化学	1-2③			2							兼2
	教養分子生物学	1-2④			2							兼1
	教養生物学	1-2②			2							兼3
	科学で探る地球	1-2③		2								兼1
	工学と社会(機械工学系)	1-2①		2		10	4					兼1
	工学と社会(電気電子物理工学系)	1-2③、④		2								兼10
	工学と社会(情報系)	1-2②		2								兼14
	工学と社会(応用化学系)	1-2 ②、④		2								兼2
	工学と社会(環境社会デザイン系)	1-2 ①、③		2								兼8
	生活と技術	1-2③		2								兼12
精神保健学	1-2③		2								兼1	
健康科学	1-2①		2								兼4	
農学入門	1-2②		2								兼1	
小計(14科目)	-											
基盤科目	宗教と出会う	1-2①		2								兼1
	「多様な性」と出会う・大学と出会う1	1-2②		2								兼1
	男女共同参画社会を考える・大学と出会う2	1-2③		2								兼1
	現代信仰論・大学と出会う4	1-2 ①、②		2								兼1
	「戦争の記憶・平和の思想」と出会う	1-2		2								兼1
	福祉と出会う	1-2③、④		2								兼1
	NGOと出会う	1-2		2								兼1
	異なる文化と出会う	1-2		2								兼1
	開発の概念	1-2③、④		2								兼1
	社会調査法応用	1-2④		2								兼1
	統計学基礎	1-2①		2								兼1
	データ解析	1-2④		2								兼1
	社会調査実習	1-2①、②		2								兼1
	有機農業と自然と社会Ⅰ	1-2①、②		2								兼1
	有機農業と自然と社会Ⅱ	1-2③、④		2								兼1
	インターンシップa	1-2		2								兼1
	インターンシップb	1-2		2								兼1
	パーソナルファイナンス論	1-2①、②		2								兼1
	課題解決型プログラムa	1-2 ③、④		2								兼1
	課題解決型プログラムb	1-2 ③、④		2								兼1
	課題解決型長期インターンシップ	1-2		2								兼1
	地域創生を考えるa	1-2③		1								兼1
	地域創生を考えるb	1-2④		1								兼1
科学技術と出会う	1-2③、④		2								兼2	
地域金融×地域創生入門	1-2 ①、②		2								兼1	
知的財産概説	1-2 ③、④		2		1						兼3	
地域と出会い、働くことを考える	1-2 未定		2								兼1	
消費者教育講座	1-2 ④		2								兼1	
ダイバーシティ論入門	1-2 ④		2								兼1	
小計(29科目)	-											

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担	
			必修	選択	自由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
社会科学科目群	地理学概説	1-2③、④		2								兼1
	経営学概説	1-2①、③		2								兼2
	会計学概説	1-2③		2								兼1
	社会学概説	1-2③、④		2								兼2
	心理学入門	1-2①、②		2								兼2
	現代教育論	1-2③		2								兼1
	現代発達科学入門	1-2①、②		2								兼5
	教育臨床学入門	1-2②、③		2								兼6
	社会調査法基礎	1-2		2								兼1
	統計学入門	1-2②		2								兼1
	ジェンダー論入門	1-2②、④		2								兼1
小計(18科目)	-											
自然科学科目群	教養物理学	1-2③			2							兼16
	教養化学	1-2③			2							兼2
	教養分子生物学	1-2④			2							兼1
	教養生物学	1-2②			2							兼3
	科学で探る地球	1-2③		2								兼1
	工学と社会(機械工学系)	1-2①		2		9	4					兼1
	工学と社会(電気電子物理工学系)	1-2③、④		2								兼10
	工学と社会(情報系)	1-2②		2								兼14
	工学と社会(応用化学系)	1-2②、④		2								兼7
	工学と社会(環境社会デザイン系)	1-2②、④		2								兼8
	生活と技術	1-2③		2								兼12
精神保健学	1-2③		2								兼1	
健康科学	1-2④		2								兼1	
農学入門	1-2②		2								兼1	
小計(14科目)	-											
基盤科目	宗教と出会う	1-2④		2								兼1
	「多様な性」と出会う・大学と出会う1	1-2③、④		2								兼1
	男女共同参画社会を考える・大学と出会う2	1-2③		2								兼1
	現代信仰論・大学と出会う4	1-2 ③、④		2								兼1
	「戦争の記憶・平和の思想」と出会う	1-2②		2								兼1
	福祉と出会う	1-2③、④		2								兼1
	NGOと出会う	1-2		2								兼1
	異なる文化と出会う	1-2		2								兼1
	開発の概念	1-2③、④		2								兼1
	社会調査法応用	1-2④		2								兼1
	統計学基礎	1-2②		2								兼1
	データ解析	1-2④		2								兼1
	社会調査実習	1-2③、④		2								兼1
	有機農業と自然と社会Ⅰ	1-2③、④		2								兼3
	有機農業と自然と社会Ⅱ	1-2③、④		2								兼3
	インターンシップa	1-2		2								兼1
	インターンシップb	1-2		2								兼1
	パーソナルファイナンス論	1-2③、④		2								兼1
	課題解決型プログラムa	1-2 ③、④		2								兼3
	課題解決型プログラムb	1-2 ③、④		2								兼1
	課題解決型長期インターンシップ	1-2		2								兼1
	地域創生を考えるa	1-2③		1								兼1
	地域創生を考えるb	1-2④		1								兼1
科学技術と出会う	1-2③、④		2								兼2	
地域金融×地域創生入門	1-2 ③、④		2								兼1	
知的財産概説	1-2 ③、④		2								兼4	
地域と出会い、働くことを考える	1-2 未定		2								兼1	
消費者教育講座	1-2 ④		2								兼1	
ダイバーシティ論入門	1-2 ④		2								兼1	
SDGsと出会う	1-2④		2								兼1	
小計(30科目)	-											

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
理工系基礎教育科目 (D1群)	微分積分学基礎 I	1①	2			1	1						
	微分積分学基礎 II	1②	2			1	1						
	D1a 線形代数基礎	1①	2									兼1	
	ベクトル解析基礎	2①~②	2						1			兼1	
	確率・統計基礎	2③~④	2									兼1	
	D1b 電磁気学基礎	1③~④	2									兼1	
	力学基礎	1①~②	2									兼1	
	D1c 化学基礎	2①~②	2									兼1	
	物理化学 I	2③~④	2									兼1	
	D1d 生物学基礎	2①~②	2									兼3	
	D1e 理工学と現代社会	1①~②	2			1						兼11	
	小計(11科目)	-											
	工学部教養科目 (D2群)	エネルギー環境問題	2③-④ ①~②	2									兼4
		現代社会概説	2③-④ ③~④	2									兼2
		科学技術史	2③-④ ①~②	2				3					兼12
技術者倫理		1②	2			1						兼1	
情報倫理		2③-④ ③~④	2									兼1	
情報基礎		1②	2						2			兼17	
工学入門セミナー		1③~④	2				1					兼1	
科学技術英語		3①~②	2									兼1	
小計(8科目)	-												
学科専門基礎科目 (D3群)	微分方程式 I	1③~④	2							1		兼1	
	情報処理概論	1③~④	2									兼1	
	プログラミング演習	1③~④	2				1					兼1	
	応用数学 I	1④	2			1				1		兼1	
	複素関数	2③	2				1					兼1	
	数値解析 I	2①~②	2				1			1		兼1	
	微分方程式 II	2④	2				1					兼1	
	基礎電気回路	2①	2									兼1	
小計(8科目)	-												
学科専門科目 (D4群)	工業力学	1①	2				1						
	材料力学 I	1③	2			1				1			
	機械工学・システムデザイン入門	1①	2			12	10						
	機構学	1④	2			1						兼1	
	機械設計製図 I	2①~②	3									兼1	
	機械設計製図 II	2③~④	3				2						
	熱力学 I	2①	2			1							
	基礎流体力学	2③	2				1						
	制御工学 I	2③	2			2							
	機械工学実験 I	2③~④	3			12	10			5			
	材料力学 II	2①	2			1				1			
	機械力学	2②	2			1							
	計測工学	2①~②	2				1						
	機械設計学	2③~④	2				1						
	材料工学 I	2④	2			1							
	固体力学	2④	2			1							
	熱力学 II	2③	2			1							
	機械工作実習	3③~④	3				1			1			
	機械工学実験 II	3①~②	3			12	10			5			
	メカトロニクスシステム	3②	2			1	1			1			
伝熱工学	3②	2				1							
流体力学	3①	2			1								
生産加工学	3①	2				1							
機械システムのモデリング	3②	2			1	1							
機械運動学	3②	2				1							
材料工学 II	3①	2									兼1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
理工系基礎教育科目 (D1群)	微分積分学基礎 I	1①	2			1	1						
	微分積分学基礎 II	1②	2			1	1						
	D1a 線形代数基礎	1①	2									兼1	
	ベクトル解析基礎	2①~②	2							1		兼1	
	確率・統計基礎	2③~④	2									兼1	
	D1b 電磁気学基礎	1③~④	2									兼1	
	力学基礎	1①~②	2									兼1	
	D1c 化学基礎	2①~②	2									兼1	
	物理化学 I	2③~④	2									兼1	
	D1d 生物学基礎	2①~②	2									兼3	
	D1e 理工学と現代社会	1①~②	2						1			兼11	
	小計(11科目)	-											
	工学部教養科目 (D2群)	エネルギー環境問題	2③-④ ①~②	2									兼6
		現代社会概説	2③-④ ③~④	2									兼2
		科学技術史	2③-④ ①~②	2						3			兼12
技術者倫理		1②	2			1						兼1	
情報倫理		2③-④ ③~④	2									兼1	
情報基礎		1②	2							2		兼20	
工学入門セミナー		1③~④	2						2			兼1	
科学技術英語		3①~②	2									兼1	
小計(8科目)	-												
学科専門基礎科目 (D3群)	微分方程式 I	1③~④	2								1	兼1	
	情報処理概論	1③~④	2									兼1	
	プログラミング演習	1③~④	2							1		兼1	
	応用数学 I	1④	2								1	兼1	
	複素関数	2③~④	2				1					兼1	
	数値解析 I	2①~②	2				1			1		兼1	
	微分方程式 II	2④	2				1					兼1	
	基礎電気回路	2①	2									兼1	
小計(8科目)	-												
学科専門科目 (D4群)	工業力学	1①	2							1			
	材料力学 I	1③	2			1					1		
	機械工学・システムデザイン入門	1①	2			11	10						
	機構学	1④	2			1						兼1	
	機械設計製図 I	2①~②	3									兼1	
	機械設計製図 II	2③~④	3				2						
	熱力学 I	2①	2			1							
	基礎流体力学	2③	2				1						
	制御工学 I	2③	2			1							
	機械工学実験 I	2③~④	3			11	10			5			
	材料力学 II	2①	2			1				1			
	機械力学	2②	2			1							
	計測工学	2①	2				1						
	機械設計学	2②	2				1						
	材料工学 I	2④	2			1							
	固体力学	2④	2			1							
	熱力学 II	2③	2			1							
	機械工作実習	3③~④	3				1			1			
	機械工学実験 II	3①~②	3			11	10			5			
	メカトロニクスシステム	3②	2			1	1			1			
伝熱工学	3②	2				1							
流体力学	3①	2			1								
生産加工学	3①	2				1							
機械システムのモデリング	3②	2			1	1							
機械運動学	3②	2				1							
材料工学 II	3①	2									兼1		

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学 科 専 門 科 目 (D4群)	インターンシップ	3①~④	2			1						
	機械システム解析	3④	2			1						
	機械振動・音工学	3③	2			1						
	制御工学Ⅱ	3①	2			2						
	応用流体力学	3③	2			1						
	精密加工学	3③	2				1					兼1
	自動車工学	3③	2									
	生産システム	3①	2				1					
	卒業研究A	4①~②	3			12	10		5			
	卒業研究B	4③~④	3			12	10		5			
	マイクロ・ナノ加工学	4①	2				1		1			
	D4b	メカノロボット輪講	4①~②	1			5	5				
		メカノサイエンス輪講	4①~②	1			7	5		5		
		小計(39科目)	-									
専 門 科 目 (D6群)	社会デザインプロセス論	2-3-4 ①~②	2									兼1
	社会的意識決定論	2-3-4 ③~④	2									兼1
	システムデザイン序論	3④	2			1	1					
	イノベーションとマーケティング	2-3-4 ①~②	2									兼3
	機械と職業	3①~②	2									兼1
	産業創成論	2-3-4 ③~④	2									兼1
	技術者のための産業経営論	2-3-4 ①~②	2									兼3
	ソーシャルデザイン演習(未開講)	2-3-4	2			1						
	ものづくり創造演習	3③~④	2			1						
	課題探索型セミナーⅠ	3①~②	3			12	10		5			
	課題探索型セミナーⅡ	3③~④	3			12	10		5			
	課題解決型演習Ⅰ	2-3-4 ①~②	2									兼2
	課題解決型演習Ⅱ	2-3-4 ③~④	2									兼2
	科学技術と知的財産	3-4③~④	2									兼1
	小計(14科目)	-										
合計(182科目)												
卒業要件及び履修方法												
外国語科目(英語)8単位(英語Ⅰから4単位、英語Ⅱから4単位を修得すること)、基盤科目から10単位(人文科学科目群から4単位、社会科学科目群から4単位を修得すること)、専門科目から106単位、合計124単位以上修得すること。専門科目106単位には、以下の(1)~(7)の条件をすべて満たさなければならない。 (1) 必修科目44単位を修得すること。 (2) D1群から18単位、かつD1群D1a分野から2単位、D1群D1b分野から2単位、D1群D1c分野から2単位を修得すること。 (3) D2群から必修科目を含めて8単位修得すること。 (4) D3群から12単位を修得すること。 (5) D4群D4a分野から50単位、D4群D4b分野から1単位を修得すること。 (6) D6群から必修科目を含めて10単位を修得すること。 (7) D4群とD6群の指定選択科目から22単位を修得すること。												

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学 科 専 門 科 目 (D4群)	インターンシップ	3①~④	2			1						
	機械システム解析	3④	2			1						
	機械振動・音工学	3③	2			1						
	制御工学Ⅱ	3①	2			1						
	応用流体力学	3③	2			1						
	精密加工学	3③	2				1					兼1
	自動車工学	3③	2									
	生産システム	3④	2				1					
	卒業研究A	4①~②	3			11	10		5			
	卒業研究B	4③~④	3			11	10		5			
	マイクロ・ナノ加工学	4①	2				1		1			
	D4b	メカノロボット輪講	4①~②	1			4	5				
		メカノサイエンス輪講	4①~②	1			7	5		5		
		小計(39科目)	-									
専 門 科 目 (D6群)	社会デザインプロセス論	2-3-4 ①~②	2									兼6
	社会的意識決定論	2-3-4 ③~④	2									兼1
	システムデザイン序論	3④	2			1	1					
	イノベーションとマーケティング	2-3-4 ①~②	2									兼3
	機械と職業	3①~②	2									兼1
	産業創成論	2-3-4 ③~④	2									兼1
	技術者のための産業経営論	2-3-4 ①~②	2									兼3
	ものづくり創造演習	3③~④	2						11	10		5
	課題探索型セミナーⅠ	3①~②	3						11	10		5
	課題探索型セミナーⅡ	3③~④	3						11	10		5
	課題解決型演習Ⅰ	2-3-4 ①~②	2									兼2
	課題解決型演習Ⅱ	2-3-4 ③~④	2									兼2
	科学技術と知的財産	3-4③~④	2									兼1
		小計(13科目)	-									
合計(182科目)												
卒業要件及び履修方法												
外国語科目(英語)8単位(英語Ⅰから4単位、英語Ⅱから4単位を修得すること)、基盤科目から10単位(人文科学科目群から4単位、社会科学科目群から4単位を修得すること)、専門科目から106単位、合計124単位以上修得すること。専門科目106単位には、以下の(1)~(7)の条件をすべて満たさなければならない。 (1) 必修科目44単位を修得すること。 (2) D1群から18単位、かつD1群D1a分野から2単位、D1群D1b分野から2単位、D1群D1c分野から2単位を修得すること。 (3) D2群から必修科目を含めて8単位修得すること。 (4) D3群から12単位を修得すること。 (5) D4群D4a分野から50単位、D4群D4b分野から1単位を修得すること。 (6) D6群から必修科目を含めて10単位を修得すること。 (7) D4群とD6群の指定選択科目から22単位を修得すること。												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「【臨地実務実習】」による授業科目には「【臨】」、「【連携実務演習】」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) - ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・講義分担任の変更により、「英語Ⅰ (General English Skills 1a)」の担当教員等の配置を「兼任・兼任22」から「兼任・兼任10」に変更。
- ・講義分担任の変更により、「英語Ⅰ (General English Skills 1b)」の担当教員等の配置を「兼任・兼任22」から「兼任・兼任10」に変更。
- ・講義分担任の変更により、「英語Ⅰ (General English Skills 1c)」の担当教員等の配置を「兼任・兼任22」から「兼任・兼任10」に変更。
- ・講義分担任の変更により、「英語Ⅰ (General English Skills 1d)」の担当教員等の配置を「兼任・兼任22」から「兼任・兼任10」に変更。
- ・講義分担任の変更により、「英語Ⅱ (Academic English Skills 2a)」の担当教員等の配置を「兼任・兼任22」から「兼任・兼任10」に変更。
- ・講義分担任の変更により、「英語Ⅱ (Academic English Skills 2b)」の担当教員等の配置を「兼任・兼任22」から「兼任・兼任10」に変更。
- ・講義分担任の変更により、「英語Ⅱ (Academic English Skills 2c)」の担当教員等の配置を「兼任・兼任22」から「兼任・兼任10」に変更。
- ・講義分担任の変更により、「英語Ⅱ (Academic English Skills 2d)」の担当教員等の配置を「兼任・兼任22」から「兼任・兼任10」に変更。
- ・講義分担任の変更により、「英語Ⅱ (Academic Communication Skills 2a)」の担当教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任4」に変更。
- ・講義分担任の変更により、「英語Ⅱ (Academic Communication Skills 2b)」の担当教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任4」に変更。
- ・講義分担任の変更により、「英語Ⅱ (Academic Essay Writing 2a)」の担当教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・講義分担任の変更により、「英語Ⅱ (Academic Essay Writing 2b)」の担当教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・講義担当教員の変更により、「哲学概説」の担当教員を「兼1」から「兼2」に変更。また、開講時期を1・2年次の①・④タームから1・2年次の③・④タームに変更。
- ・開講講義数のバランスのために、「美学概説」の開講時期を1・2年次の③・④タームから1・2年次の①・②タームに変更。
- ・講義担当教員の変更により、「芸術概説」の担当教員を「兼2」から「兼1」に変更。
- ・講義担当教員の変更により、「日本史概説」の担当教員を「兼1」から「兼2」に変更。また、開講時期を1・2年次の①・③タームから1・2年次の③・④タームに変更。
- ・講義担当教員の変更により、「考古学概説」の担当教員を「兼1」から「兼2」に変更。また、開講時期を1・2年次の①・③タームから1・2年次の①・④タームに変更。
- ・講義担当教員の変更により、「東洋史概説」の担当教員を「兼2」から「兼1」に変更。
- ・講義担当教員の変更により、「西洋史概説」の担当教員を「兼2」から「兼1」に変更。また、開講時期を1・2年次の①・④タームから1・2年次の③・④タームに変更。
- ・講義担当教員の変更により、「言語学概説」の担当教員を「兼2」から「兼1」に変更。
- ・講義担当教員の変更により、「日本文学・文化概説」の担当教員を「兼2」から「兼1」に変更。
- ・講義担当教員の変更により、「アジア文学・文化概説」の担当教員を「兼1」から「兼3」に変更。また、開講数を年間2コマから3コマに変更。
- ・講義担当教員の変更により、「欧米文学・文化概説」の担当教員を「兼2」から「兼3」に変更。また、開講数を年間1コマから3コマに変更。
- ・講義担当教員の変更により、「ことばと文化」の担当教員を「兼2」から「兼1」に変更。また、開講数を年間2コマから1コマに削減。
- ・開講講義数のバランスのために、「法学概説」の開講時期を1・2年次の②・④タームから1・2年次の②・③タームに変更。
- ・講義担当教員の変更により、「地理学概説」の担当教員を「兼2」から「兼1」に変更。また、開講時期を1・2年次の①・③タームから1・2年次の③・④タームに変更。
- ・開講講義数のバランスのために、「社会学概説」の開講時期を1・2年次の①・③タームから1・2年次の③・④タームに変更。
- ・講義担当教員の変更により、「教育臨床学入門」の担当教員を「兼2」から「兼1」に変更。
- ・「工学と社会 (機械系)」の講義名を「工学と社会 (機械工学系)」に変更。
- ・「工学と社会 (電気電子系)」の講義名を「工学と社会 (電気電子物理工学系)」に変更。また、開講数を年間1コマから2コマへ増加。
- ・「工学と社会 (応用化学系)」の開講数を年間1コマから2コマへ増加。
- ・「工学と社会 (環境社会デザイン系)」の開講数を年間1コマから2コマへ増加。また、担当教員数調整のために兼任8から兼任10に変更。
- ・開講講義数のバランスのために、「健康科学」の開講時期を1・2年次の③タームから1・2年次の①タームに変更。
- ・開講講義数のバランスのために、「農学入門」の開講時期を1・2年次の④タームから1・2年次の②タームに変更。
- ・開講講義数の調整のために、「現代信仰論・大学と出会う4」の開講数を年間2コマから1コマに削減。
- ・「国際関係論概説」の武田講師離職につき、現在第4ターム開講に向けて人選中。
- ・「NGOと出会う」の山崎講師離職につき、現在集中講義による開講に向けて人選中。
- ・「課題解決型プログラムa」の開講時期を1・2年次の①～②タームから1・2年次通年開講に変更。
- ・「科学技術と出会う」を基盤科目として開講。
- ・講義内容の一部組み替えにより、「理工学と現代社会」の担当教員を「教授1、兼任13」から「教授1、兼任10」に変更。
- ・講義内容の大幅な組み替えに伴い「工学入門セミナー」担当教員数を、「准教授1、助教1、兼任11、兼任1」から「准教授1、助教1、兼任21、兼任1」に大幅見直し。
- ・担当講義数の調整のために、「微分積分学基礎Ⅱ」の担当教員を「教授1」から「教授1・助教1」に変更。
- ・担当講義数の調整のために、「線形代数基礎」の担当教員を「准教授1」から「准教授1・助教1」に変更。
- ・担当講義数の調整のために、「確率・統計基礎」の担当教員を「准教授1」から「兼1」に変更。
- ・担当講義数の調整のために、「情報基礎」の担当教員を「准教授1・助教1」から「助教2」に変更。
- ・担当講義数の調整のために、「現代社会概説」の担当教員数を「兼任15」から「教授3、兼任12」に変更。
- ・担当講義数の調整のために、「プログラミング演習」の担当教員を「教授1、助教1、兼任・兼任1」から「准教授1、助教1、兼任・兼任1」に変更。
- ・担当講義数の調整のために、「機械設計製図Ⅱ」の担当教員を「准教授1、助教1」から「准教授2」に変更。
- ・担当講義数の調整のために、「制御工学Ⅱ」の担当教員を「教授1、助教1」から「教授2、助教1」に変更。
- ・担当講義数の調整のために、「生産システム」の担当教員を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・教員の異動・昇任等により、「機械工学実験Ⅰ」の担当教員を「教授12、准教授7、助教10」から「教授12、准教授7、助教8」に変更。
- ・教員の異動・昇任等により、「機械工学実験Ⅱ」の担当教員を「教授12、准教授7、助教10」から「教授12、准教授7、助教8」に変更。
- ・「マイクロ・ナノ加工学」を2単位の選択科目、担当を「准教授1、助教1」、開講時期を4年次の1タームに開講。
- ・教員の異動・昇任等により、「卒業研究A」の担当教員を「教授12、准教授7、助教10」から「教授12、准教授8、助教6」に変更。
- ・教員の異動・昇任等により、「卒業研究B」の担当教員を「教授12、准教授7、助教10」から「教授12、准教授8、助教6」に変更。
- ・担当講義数の調整のために、「メカノロボット論講」の担当教員を「教授6、准教授1、助教6」から「教授5、准教授0、助教3」に変更。
- ・担当講義数の調整のために、「メカノサイエンス論講」の担当教員を「教授6、准教授1、助教6」から「教授7、准教授3、助教3」に変更。
- ・「産業創成論」は、外部講師による開講科目のため、コーディネータであるオープンイノベーションセンター小林教授に講師の人選を依頼中 (H31年度開講予定)。
- ・「技術者のための産業経営論」は、外部講師による開講科目のため、コーディネータであるオープンイノベーションセンター小林教授に講師の人選を依頼中 (H31年度開講予定)。

【令和元年度】

- ・講義分担任の変更により、「英語Ⅰ (General English Skills 1a)」の担当教員等の配置を「兼任・兼任22」から「兼任・兼任10」に変更。
- ・講義分担任の変更により、「英語Ⅰ (General English Skills 1b)」の担当教員等の配置を「兼任・兼任22」から「兼任・兼任10」に変更。
- ・講義分担任の変更により、「英語Ⅰ (General English Skills 1c)」の担当教員等の配置を「兼任・兼任22」から「兼任・兼任10」に変更。
- ・講義分担任の変更により、「英語Ⅰ (General English Skills 1d)」の担当教員等の配置を「兼任・兼任22」から「兼任・兼任10」に変更。
- ・講義分担任の変更により、「英語Ⅰ (Academic Essay Writing 1a)」の担当教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・講義分担任の変更により、「英語Ⅰ (Academic Essay Writing 1b)」の担当教員等の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・講義分担任の変更により、「英語Ⅰ (English for Specific Purposes 1a)」の担当教員等の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任8」に変更。
- ・講義分担任の変更により、「英語Ⅰ (English for Specific Purposes 1b)」の担当教員等の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任8」に変更。
- ・講義分担任の変更により、「英語Ⅱ (Academic English Skills 2a)」の担当教員等の配置を「兼任・兼任22」から「兼任・兼任10」に変更。
- ・講義分担任の変更により、「英語Ⅱ (Academic English Skills 2b)」の担当教員等の配置を「兼任・兼任22」から「兼任・兼任10」に変更。
- ・講義分担任の変更により、「英語Ⅱ (Academic English Skills 2c)」の担当教員等の配置を「兼任・兼任22」から「兼任・兼任10」に変更。
- ・講義分担任の変更により、「英語Ⅱ (Academic English Skills 2d)」の担当教員等の配置を「兼任・兼任22」から「兼任・兼任6」に変更。
- ・講義分担任の変更により、「英語Ⅱ (Academic Essay Writing 2a)」の担当教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・講義分担任の変更により、「英語Ⅱ (Academic Essay Writing 2b)」の担当教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・講義分担任の変更により、「英語Ⅰ (English for Specific Purposes 2a)」の担当教員等の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任8」に変更。
- ・講義分担任の変更により、「英語Ⅰ (English for Specific Purposes 2b)」の担当教員等の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任8」に変更。
- ・講義担当教員の変更により、「哲学概説」の担当教員を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。また、開講時期を1・2年次の①・④タームから1・2年次の①・③タームに変更。
- ・開講講義数のバランスのために、「美学概説」の開講時期を1・2年次の③・④タームから1・2年次の①・②タームに変更。

- ・講義担当教員の変更により、「芸術概説」の担当教員を「兼任・兼担2」から「兼任・兼担6」に変更。
- ・講義担当教員の変更により、「日本史概説」の担当教員を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更。
- ・講義担当教員の変更により、「東洋史概説」の担当教員を「兼任・兼担2」から「兼任・兼担3」に変更。また、開講時期を1・2年次の③・④タームから1・2年次の②・③・④タームに変更。
- ・講義担当教員の変更により、「西洋史概説」の担当教員を「兼任・兼担2」から「兼任・兼担1」に変更。また、開講時期を1・2年次の①・④タームから1・2年次の③タームに変更。
- ・講義担当教員の変更により、「言語学概説」の担当教員を「兼任・兼担2」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・講義担当教員の変更により、「日本文学・文化概説」の担当教員を「兼任・兼担2」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・講義担当教員の変更により、「アジア文学・文化概説」の担当教員を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担3」に変更。また、開講数を年間2コマから3コマに変更。
- ・講義担当教員の変更により、「欧米文学・文化概説」の担当教員を「兼任・兼担2」から「兼任・兼担3」に変更。また、開講数を年間1コマから2コマに変更。
- ・講義担当教員の変更により、「ことばと文化」の担当教員を「兼任・兼担2」から「兼任・兼担1」に変更。また、開講数を年間2コマから1コマに削減。
- ・開講講義数のバランスのために、「国際関係論概説」の開講時期を1・2年次の①・②タームから1・2年次の④タームに変更。現在、第4ターム開講に向けて入選中。
- ・開講講義数のバランスのために、「法学概説」の開講時期を1・2年次の②・④タームから1・2年次の②・③タームに変更。
- ・講義担当教員の変更により、「地理学概説」の担当教員を「兼任・兼担2」から「兼任・兼担1」に変更。また、開講時期を1・2年次の①・③タームから1・2年次の③・④タームに変更。
- ・開講講義数のバランスのために、「経営学概説」の開講時期を1・2年次の①・③タームから1・2年次の②・④タームに変更。
- ・開講講義数のバランスのために、「会計学概説」の開講時期を1・2年次の③・④タームから1・2年次の①・④タームに変更。
- ・開講講義数のバランスのために、「社会学概説」の開講時期を1・2年次の①・③タームから1・2年次の①・④タームに変更。
- ・講義担当教員の変更により、「心理学入門」の担当教員を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更。
- ・講義担当教員の変更により、「教育臨床学入門」の担当教員を「兼任・兼担2」から「兼任・兼担3」に変更。
- ・講義分担の変更により、「教養化学」の担当を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更。
- ・「工学と社会（機械系）」の講義名を「工学と社会（機械工学系）」に変更。また、講義分担の変更により担当教員を「教授11、准教授1」から「教授10、准教授2」に変更。
- ・「工学と社会（電気電子系）」の講義名を「工学と社会（電気電子物理工学系）」に変更。また、開講数を年間1コマから2コマへ増加。担当教員を「兼任・兼担5」から「兼任・兼担9」に変更。
- ・「工学と社会（応用化学系）」の開講数を年間1コマから2コマへ増加。担当教員を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」へ変更。
- ・「工学と社会（環境社会デザイン系）」の開講数を年間1コマから2コマへ増加。
- ・「精神保健学」の担当教員退職。後任入選中。
- ・「健康科学」の開講時期を1・2年次の③タームから1・2年次の④タームに変更。
- ・「農学入門」の開講時期を1・2年次の④タームから1・2年次の②タームに変更。
- ・「現代信仰論・大学と出会う4」の開講時期と回数を2コマ1・2①～②、③～④から1コマ1・2③～④に変更。
- ・「課題解決型プログラムa」の開講時期を1・2①～②から、1・2に変更。
- ・「科学技術と出会う」を基盤科目として開講。
- ・「地域金融×地域創生入門」を基盤科目として新規開講。
- ・「知的財産概説」を基盤科目として新規開講。
- ・「地域と出会い、働くことを考える」を基盤科目として新規開講。
- ・「消費者教育講座」を基盤科目として新規開講。
- ・「ダイバーシティ論入門」を基盤科目として新規開講。
- ・講義分担の変更により、「微分積分学基礎Ⅰ」の担当教員を「教授1、助教1」から「教授1、准教授1」に変更。
- ・講義分担の変更により、「微分積分学基礎Ⅱ」の担当教員を「教授1」から「教授1、准教授1」に変更。
- ・担当教員の分担変更により、「ベクトル解析基礎」の担当を「兼任・兼担1」から「助教1、兼任・兼担1」に変更。
- ・講義担当者の分担変更により、「確率・統計基礎」の担当を「准教授1」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・教員の異動により、「化学基礎」を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更。
- ・講義担当者の分担変更により「生物学基礎」の担当を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担3」に変更。
- ・講義分担の変更により、「理工学と現代社会」の担当教員を「教授1、兼任・兼担13」から「教授1、兼任・兼担10」に変更。
- ・講義内容の一部変更に伴い「エネルギー環境問題」の担当教員を「兼任・兼担3」から「兼任・兼担4」に変更。
- ・講義内容の一部見直しに伴い「現代社会概説」の担当を「兼任・兼担15」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・講義内容の見直しにより「科学技術史」の担当を「兼任・兼担1」から「教授1、兼任・兼担12」に変更。
- ・講義分担の変更により、「情報基礎」の担当教員を「准教授1、助教1」から「助教2」に変更。
- ・講義分担の変更により、「工学入門セミナー」の担当教員を「准教授1、助教1、兼任・兼担12」から「准教授1、助教1、兼任・兼担16」に変更。
- ・講義担当者の分担変更により「プログラミング演習」の担当を「教授1、助教1、兼任1」から「助教1、兼任1」に変更。
- ・講義分担の変更により、「応用数学Ⅰ」の担当教員を「教授1、助教1」から「教授1」に変更。
- ・講義分担の変更により、「工業力学」の担当教員を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・講義分担の変更により、「材料力学Ⅰ」の担当教員を「教授1、助教1」から「准教授1、助教1」に変更。
- ・教員の異動、昇任等により、「機械工学・システムデザイン入門」の担当教員を「教授12、准教授7」から「教授11、准教授11」に変更。
- ・講義分担の変更により、「機械設計製図Ⅱ」の担当教員を「准教授1、助教1」から「准教授2」に変更。
- ・講義分担の変更により、「基礎流体力学」の担当教員を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・講義分担の変更により、「制御工学Ⅰ」の担当教員を「教授1、准教授1」から「教授2」に変更。
- ・教員の異動・昇任等により、「機械工学実験Ⅰ」の担当教員を「教授12、准教授7、助教10」から「教授11、准教授11、助教6」に変更。
- ・講義分担の変更により、「計測工学」の担当教員を「教授1」から「兼任・兼担1」に変更。また、開講時期を2・②タームから2・①・②タームに変更。
- ・講義分担の変更により、「固体力学」の担当教員を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・教員の異動により、「機械工作実習」の担当を「教授1、准教授1」から「准教授1、助教1」に変更。
- ・教員の異動・昇任等により、「機械工学実験Ⅱ」の担当教員を「教授12、准教授7、助教10」から「教授11、准教授11、助教6」に変更。
- ・教員の異動により、「生産加工学」の担当を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・教員の昇任等により、「機械システムのモデリング」の担当を「教授1」から「教授1、准教授1」に変更。
- ・教員の異動により、「インターシップ」の担当教員を「教授1、准教授1」から「准教授1」に変更。
- ・講義分担の変更により、「制御工学Ⅱ」の担当を「教授1、助教1」から「教授2」に変更。
- ・教員の異動により、「精密加工学」の担当を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・講義分担の変更により、「自動車工学」の担当を「准教授1」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・教員の異動により、「生産システム」の担当を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・「マイクロ・ナノ加工学」を2単位の選択科目、担当を「准教授1、助教1」、開講時期を4年次の1タームに開講。
- ・教員の昇任、異動等により、「卒業研究A」の担当を「教授12、准教授7、助教10」から「教授11、准教授11、助教6」に変更。
- ・教員の昇任、異動等により、「卒業研究B」の担当を「教授12、准教授7、助教10」から「教授11、准教授11、助教6」に変更。
- ・教員の昇任、異動等により、「メカロボット論講」の担当を「教授6、准教授1、助教6」から「教授5、准教授5、助教1」に変更。
- ・教員の昇任、異動等により、「メカノサイエンス論講」の担当を「教授6、准教授1、助教6」から「教授6、准教授6、助教5」に変更。
- ・講義内容の見直し等により、「産業創成論」の担当を「兼任・兼担15」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・講義内容の見直し等により、「技術者のための産業経営論」の担当を「兼任・兼担15」から「兼任・兼担3」に変更。
- ・「ソーシャルデザイン演習」の担当を「教授1、兼任1」から「教授1」に変更。
- ・「ものづくり創造演習」の担当を「教授1、兼任1」から「教授1」に変更。
- ・教員の昇任、異動等により、「課題探索型セミナーⅠ」の担当を「教授12、准教授7、助教10」から「教授11、准教授11、助教6」に変更。
- ・教員の昇任、異動等により、「課題探索型セミナーⅡ」の担当を「教授12、准教授7、助教10」から「教授11、准教授11、助教6」に変更。
- ・講義担当者の分担変更により「課題解決型演習Ⅱ」の担当を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更。

【令和2年度】

- ・講義分担の変更により、「英語Ⅰ (General English Skills 1a)」の担当教員等の配置を「兼任・兼担22」から「兼任・兼担11」に変更。
- ・講義分担の変更により、「英語Ⅰ (General English Skills 1b)」の担当教員等の配置を「兼任・兼担22」から「兼任・兼担11」に変更。
- ・講義分担の変更により、「英語Ⅰ (General English Skills 1c)」の担当教員等の配置を「兼任・兼担22」から「兼任・兼担11」に変更。
- ・講義分担の変更により、「英語Ⅰ (General English Skills 1d)」の担当教員等の配置を「兼任・兼担22」から「兼任・兼担11」に変更。
- ・講義分担の変更により、「英語Ⅰ (Academic Essay Writing 1a)」の担当教員等の配置を「兼任・兼担3」から「兼任・兼担2」に変更。
- ・講義分担の変更により、「英語Ⅰ (Academic Essay Writing 1b)」の担当教員等の配置を「兼任・兼担3」から「兼任・兼担2」に変更。
- ・講義分担の変更により、「英語Ⅰ (English for Specific Purposes 1a)」の担当教員等の配置を「兼任・兼担4」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・講義分担の変更により、「英語Ⅰ (English for Specific Purposes 1b)」の担当教員等の配置を「兼任・兼担4」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・講義分担の変更により、「英語Ⅱ (Academic English Skills 2a)」の担当教員等の配置を「兼任・兼担22」から「兼任・兼担11」に変更。
- ・講義分担の変更により、「英語Ⅱ (Academic English Skills 2b)」の担当教員等の配置を「兼任・兼担22」から「兼任・兼担11」に変更。
- ・講義分担の変更により、「英語Ⅱ (Academic English Skills 2c)」の担当教員等の配置を「兼任・兼担22」から「兼任・兼担7」に変更。
- ・講義分担の変更により、「英語Ⅱ (Academic English Skills 2d)」の担当教員等の配置を「兼任・兼担22」から「兼任・兼担7」に変更。
- ・講義分担の変更により、「英語Ⅰ (English for Specific Purposes 2a)」の担当教員等の配置を「兼任・兼担4」から「兼任・兼担7」に変更。
- ・講義分担の変更により、「英語Ⅰ (English for Specific Purposes 2b)」の担当教員等の配置を「兼任・兼担4」から「兼任・兼担7」に変更。
- ・「哲学概説」の開講時期を1・2①・④から1・2①・②に変更。担当教員を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更。
- ・「宗教学概説」の開講時期を1・2②・③から1・2②・④に変更。
- ・「論理学概説」の開講時期を1・2②・③から1・2②・④に変更。担当教員を「兼任・兼担2」から「兼任1」に変更。
- ・「芸術概説」の担当教員を「兼任・兼担2」から「兼任・兼担5」に変更。
- ・「東洋史概説」の開講時期を1・2③・④から1・2①に変更。担当教員を「兼任・兼担2」から「兼任1」に変更。
- ・「西洋史概説」の開講時期を1・2①・④タームから1・2③・④タームに変更。
- ・「言語学概説」の担当教員を「兼任・兼担2」から「兼任1」に変更。
- ・「日本文学・文化概説」の開講時期を1・2①・②から1・2①・④に変更。担当教員を「兼任・兼担2」から「兼任1」に変更。
- ・「アジア文学・文化概説」の担当教員を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担3」に変更。
- ・「欧米文学・文化概説」の開講時期を1・2③から1・2②に変更。
- ・「ことばと文化」の担当教員を「兼任・兼担2」から「兼任・兼担1」に変更。また、開講数を年間2コマから1コマに削減。
- ・「身体・スポーツ文化論入門」の担当教員を「兼任・兼担2」から「兼任・兼担1」に変更。また、開講数を年間2コマから1コマに削減。
- ・「国際関係論概説」の開講時期を1・2①・②から1・2③・④に変更。
- ・「開発と援助の潮流」の開講時期を1・2①・②から1・2①に変更。
- ・「法学概説」の開講時期を1・2②・④から1・2①・③に変更。担当教員を「兼任・兼担2」から「兼任・兼担3」に変更。
- ・「経済学概説」の担当教員を「兼任1、兼任1」から「兼任1」に変更。さらに開講時期を1・2②・③タームから1・2②タームに変更。
- ・「地理学概説」の担当教員を「兼任・兼担2」から「兼任・兼担1」に変更。また、開講時期を1・2年①・③から1・2年③・④に変更。
- ・「会計学概説」の担当教員を「兼任・兼担2」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・「社会学概説」の開講時期を1・2①・③から1・2年①・④に変更。
- ・「現代教育論」の担当教員を「兼任・兼担2」から「兼任・兼担1」に変更。また、開講時期を1・2年②・③から1・2年③に変更。
- ・「教育臨床学入門」の担当教員を「兼任・兼担2」から「兼任・兼担1」に変更。開講時期を1・2②・③から1・2①・③に変更。
- ・「社会調査法基礎」の開講時期を1・2①・②から1・2③に変更。
- ・「統計学入門」の開講時期を1・2①・②から1・2②に変更。
- ・「教養化学」の担当を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更。
- ・「教養生物学」の担当教員を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担3」に変更。
- ・「科学で探る地球」の開講時期を1・2①から1・2③に変更。
- ・「工学と社会（機械系）」の講義名を「工学と社会（機械工学系）」に変更。担当教員を「教授11、准教授1」から「教授10、准教授4」に変更。
- ・「工学と社会（電気電子系）」の講義名を「工学と社会（電気電子物理工学系）」に変更。また、開講数を年間1コマから2コマへ増加。担当教員を「兼任5」から「兼任10」に変更。
- ・「工学と社会（応用化学系）」の開講数を年間1コマから2コマへ増加。担当教員を「兼任1」から「兼任2」に変更。
- ・「工学と社会（環境社会デザイン系）」の開講数を年間1コマから2コマへ増加。開講時期を1・2③から1・2①・③に変更。
- ・「生活と技術」の担当教員を「兼任1」から「兼任・兼担12」に変更。
- ・「精神保健学」の開講時期を1・2②から1・2③に変更。
- ・「健康科学」の開講時期を1・2③から1・2①に変更。担当教員を「兼任1」から「兼任4」に変更。
- ・「農学入門」の開講時期を1・2年次の④タームから1・2年次の②タームに変更。
- ・「現代信仰論・大学と出会う4」の開講時期を1・2①～②・③～④から1・2③～④に変更。
- ・「戦争の記憶・平和の思想」と出会うの開講時期を1・2①～②から1・2に変更。
- ・「社会調査法応用」の開講時期を1・2③から1・2④に変更。
- ・「課題解決型プログラムa」の開講時期を1・2①～②から、1・2③・④に変更。
- ・「科学技術と出会う」を基盤科目として開講。
- ・「地域金融×地域創生入門」を基盤科目として開講。
- ・「知的財産概説」を基盤科目として開講。
- ・「地域と出会い、働くことを考える」を基盤科目として開講。
- ・「消費者教育講座」を基盤科目として開講。
- ・「ダイバーシティ論入門」を基盤科目として開講。
- ・講義分担の変更により、「微分積分学基礎Ⅰ」の担当教員を「教授1、助教1」から「教授1、准教授1」に変更。
- ・講義分担の変更により、「微分積分学基礎Ⅱ」の担当教員を「教授1」から「教授1、准教授1」に変更。
- ・講義担当の変更により、「線形代数基礎」の講義担当を「准教授1」から「兼任1」に変更。
- ・担当教員の分担変更により、「ベクトル解析基礎」の担当を「兼任・兼担1」から「助教1、兼任・兼担1」に変更。
- ・講義担当の変更により、「確率・統計基礎」の担当を「准教授1」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・講義担当の変更により、「生物学基礎」の担当を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担3」に変更。
- ・講義分担の変更により、「理工学と現代社会」の担当教員を「教授1、兼任・兼担13」から「教授1、兼任・兼担11」に変更。
- ・講義内容の一部変更に伴い「エネルギー環境問題」の担当教員を「兼任・兼担3」から「兼任・兼担4」に変更。
- ・講義内容の一部見直しに伴い「現代社会概説」の担当を「兼任・兼担15」から「兼任・兼担2」に変更。
- ・講義内容の見直しにより「科学技術史」の担当を「兼任・兼担1」から「准教授3、兼任・兼担12」に変更。
- ・「情報倫理」の担当教員を「准教授1、兼任・兼担1」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・講義分担の変更により、「情報基礎」の担当教員を「准教授1、助教1」から「助教2」に変更。
- ・講義分担の変更により、「工学入門セミナー」の担当教員を「准教授1、助教1、兼任・兼担12」から「准教授1、助教1、兼任・兼担17」に変更。
- ・講義担当の変更により「プログラミング演習」の担当を「教授1、助教1、兼任1」から「准教授1」に変更。
- ・講義分担の変更により、「工業力学」の担当教員を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・教員の異動、昇任等により、「機械工学・システムデザイン入門」の担当教員を「教授12、准教授7」から「教授12、准教授10」に変更。
- ・講義分担の変更により、「機械設計製図Ⅱ」の担当教員を「准教授1、助教1」から「准教授2」に変更。
- ・講義分担の変更により、「基礎流体力学」の担当教員を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・講義分担の変更により、「制御工学Ⅰ」の担当教員を「教授1、准教授1」から「教授2」に変更。
- ・教員の異動・昇任等により、「機械工学実験Ⅰ」の担当教員を「教授12、准教授7、助教10」から「教授12、准教授10、助教5」に変更。
- ・講義分担の変更により、「計測工学」の担当教員を「教授1」から「准教授1」に変更。また、開講時期を2・②タームから2・①・②タームに変更。
- ・講義分担の変更により、「固体力学」の担当教員を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・教員の異動により、「機械工作実習」の担当を「教授1、准教授1」から「准教授1、助教1」に変更。
- ・教員の異動・昇任等により、「機械工学実験Ⅱ」の担当教員を「教授12、准教授7、助教10」から「教授12、准教授10、助教5」に変更。
- ・講義分担の変更により、「メカトロニクスシステム」の担当教員を「教授1」から「教授1、准教授1」に変更。
- ・講義分担の変更により、「伝熱工学」の担当教員を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・教員の異動により、「生産加工学」の担当を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・教員の昇任等により、「機械システムのモデリング」の担当を「教授1」から「教授1、准教授1」に変更。
- ・講義分担の変更により、「材料工学Ⅱ」の担当教員を「教授1、准教授1」から「兼任1」に変更。
- ・教員の異動により、「インターンシップ」の担当教員を「教授1、准教授1」から「准教授1」に変更。
- ・講義分担の変更により、「自動車工学」の担当を「准教授1」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・講義分担の変更により、「制御工学Ⅱ」の担当を「教授1、助教1」から「教授2」に変更。

- ・教員の異動により、「精密加工学」の担当を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・教員の異動により、「生産システム」の担当を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・「マイクロ・ナノ加工学」を2単位の選択科目、担当を「准教授1、助教1」、開講時期を4年次の1タームに開講。
- ・教員の昇任、異動等により、「卒業研究A」の担当を「教授12、准教授7、助教10」から「教授12、准教授10、助教5」に変更。
- ・教員の昇任、異動等により、「卒業研究B」の担当を「教授12、准教授7、助教10」から「教授12、准教授10、助教5」に変更。
- ・教員の昇任、異動等により、「メカノロボット論講」の担当を「教授6、准教授1、助教6」から「教授5、准教授5」に変更。
- ・教員の昇任、異動等により、「メカノサイエンス論講」の担当を「教授6、准教授1、助教6」から「教授7、准教授5、助教5」に変更。
- ・「社会的意思決定論」の担当を「兼任・兼任3」から「兼任1」に変更。
- ・「システムデザイン序論」の講義担当を「教授1」から「教授1・准教授1」に変更。
- ・「イノベーションとマーケティング」の講義担当を「教授1」から「兼任・兼任3」に変更。開講時期を2・3・4から2・3・4①・②に変更。
- ・講義内容の見直し等により、「産業創成論」の担当を「兼任・兼任15」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・講義内容の見直し等により、「技術者のための産業経営論」の担当を「兼任・兼任15」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・「ソーシャルデザイン演習」の担当を「教授1、兼任1」から「教授1」に変更。
- ・「ものづくり創造演習」の担当を「教授1、兼任1」から「教授1」に変更。
- ・教員の昇任、異動等により、「課題探索型セミナーⅠ」の担当を「教授12、准教授7、助教10」から「教授12、准教授10、助教5」に変更。
- ・教員の昇任、異動等により、「課題探索型セミナーⅡ」の担当を「教授12、准教授7、助教10」から「教授12、准教授10、助教5」に変更。
- ・講義担当者の分担変更により「課題解決型演習Ⅰ」の担当を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・講義担当者の分担変更により「課題解決型演習Ⅱ」の担当を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。

【令和3年度】

- ・講義分担の変更により、「英語Ⅰ (General English Skills 1a)」の担当教員等の配置を「兼任・兼任22」から「兼任・兼任21」に変更。
- ・講義分担の変更により、「英語Ⅰ (General English Skills 1b)」の担当教員等の配置を「兼任・兼任22」から「兼任・兼任21」に変更。
- ・講義分担の変更により、「英語Ⅰ (General English Skills 1c)」の担当教員等の配置を「兼任・兼任22」から「兼任・兼任21」に変更。
- ・講義分担の変更により、「英語Ⅰ (General English Skills 1d)」の担当教員等の配置を「兼任・兼任22」から「兼任・兼任21」に変更。
- ・講義分担の変更により、「英語Ⅰ (English for Specific Purposes 1a)」の担当教員等の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任7」に変更。
- ・講義分担の変更により、「英語Ⅰ (English for Specific Purposes 1b)」の担当教員等の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任7」に変更。
- ・講義分担の変更により、「英語Ⅱ (Academic English Skills 2a)」の担当教員等の配置を「兼任・兼任22」から「兼任・兼任21」に変更。
- ・講義分担の変更により、「英語Ⅱ (Academic English Skills 2b)」の担当教員等の配置を「兼任・兼任22」から「兼任・兼任21」に変更。
- ・講義分担の変更により、「英語Ⅱ (Academic English Skills 2c)」の担当教員等の配置を「兼任・兼任22」から「兼任・兼任21」に変更。
- ・講義分担の変更により、「英語Ⅱ (Academic English Skills 2d)」の担当教員等の配置を「兼任・兼任22」から「兼任・兼任21」に変更。
- ・講義分担の変更により、「英語Ⅱ (Academic Communication Skills 2a)」の担当教員を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。開講時期を2①から2①・③に変更。
- ・講義分担の変更により、「英語Ⅱ (Academic Communication Skills 2b)」の担当教員を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。開講時期を2②から2②・④に変更。
- ・講義分担の変更により、「英語Ⅱ (Academic Essay Writing 2a)」の担当教員を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。開講時期を2①から2①・③に変更。
- ・講義分担の変更により、「英語Ⅱ (Academic Essay Writing 2b)」の担当教員を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。開講時期を2②から2②・④に変更。
- ・講義分担の変更により、「英語Ⅱ (English for Specific Purposes 2a)」の担当教員等の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任7」に変更。
- ・講義分担の変更により、「英語Ⅱ (English for Specific Purposes 2b)」の担当教員等の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任7」に変更。
- ・「哲学概説」の開講時期を1・2①・④から1・2①・②に変更。担当教員を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・「宗教学概説」の開講時期を1・2②・③から1・2②・④に変更。
- ・「論理学概説」の開講時期を1・2②・③から1・2②・④に変更。担当教員を「兼任・兼任2」から「兼任1」に変更。
- ・「芸術概説」の担当教員を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任6」に変更。
- ・「日本史概説」の担当教員を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・「考古学概説」の担当教員を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・「東洋史概説」の開講時期を1・2③・④から1・2①に変更。担当教員を「兼任・兼任2」から「兼任1」に変更。
- ・「西洋史概説」の開講時期を1・2①・④タームから1・2①タームに変更。担当教員を「兼任・兼任2」から「兼任1」に変更。
- ・「日本文学・文化概説」の開講時期を1・2①・②から1・2①・④に変更。担当教員を「兼任・兼任2」から「兼任1」に変更。
- ・「アジア文学・文化概説」の担当教員を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任3」に変更。開講時期を1・2①・②から1・2①・②・③に変更。
- ・「欧米文学・文化概説」の開講時期を1・2③から1・2②に変更。
- ・「ことばと文化」の担当教員を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。また、開講数を年間2コマから1コマに削減。
- ・「身体・スポーツ文化論入門」の担当教員を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。また、開講数を年間2コマから1コマに削減。
- ・「国際関係論概説」の開講時期を1・2①・②から1・2③・④に変更。
- ・「政治学概説」の開講時期を1・2③・④から1・2①・②に変更。
- ・「開発援助概説」を「開発協力概説」に変更。
- ・「開発と援助の潮流」の開講時期を1・2①・②から1・2に変更。
- ・「法学概説」の開講時期を1・2②・④から1・2①・②・③に変更。担当教員を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・「経済学概説」の開講時期を1・2②・③タームから1・2②タームに変更。
- ・「地理学概説」の担当教員を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。また、開講時期を1・2年①・③から1・2年③・④に変更。
- ・「会計学概説」の担当教員を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。開講時期を1・2③④から1・2③に変更。
- ・「社会学概説」の開講時期を1・2①・③から1・2年①・④に変更。
- ・「心理学入門」の担当教員を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・「現代教育論」の担当教員を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。また、開講時期を1・2年②・③から1・2年③に変更。
- ・「現代発達科学入門」の担当教員を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任5」に変更。
- ・「教育臨床学入門」の担当教員を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任6」に変更。
- ・「社会調査法基礎」の開講時期を1・2①・②から1・2に変更。
- ・「統計学入門」の開講時期を1・2①・②から1・2②に変更。
- ・「教養物理学」の担当教員を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任16」に変更。
- ・「教養化学」の担当を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・「教養生物学」の担当教員を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・「科学で探る地球」の開講時期を1・2①から1・2③に変更。
- ・「工学と社会（機械系）」の講義名を「工学と社会（機械工学系）」に変更。担当教員を「教授11、准教授1」から「教授9、准教授4、兼任1」に変更。
- ・「工学と社会（電気電子系）」の講義名を「工学と社会（電気電子物理工学系）」に変更。また、開講数を年間1コマから2コマへ増加。担当教員を「兼任5」から「兼任10」に変更。
- ・「工学と社会（応用化学系）」の開講数を年間1コマから2コマへ増加。担当教員を「兼任1」から「兼任7」に変更。
- ・「工学と社会（環境社会デザイン系）」の開講数を年間1コマから2コマへ増加。開講時期を1・2③から1・2①・③に変更。
- ・「生活と技術」の担当教員を「兼任1」から「兼任・兼任12」に変更。
- ・「精神保健学」の開講時期を1・2②から1・2③に変更。
- ・「健康科学」の開講時期を1・2③から1・2④に変更。
- ・「農学入門」の開講時期を1・2年次の④タームから1・2年次の②タームに変更。
- ・「宗教と出会う」の開講時期を1・2①から1・2④に変更。
- ・「「多様な性」と出会う・大学と出会う1」の開講時期を1・2②から1・2①～②に変更。
- ・「現代信仰論・大学と出会う4」の開講時期を1・2①～②・③～④から1・2③～④に変更。
- ・「戦争の記憶・平和の思想」と出会う」の開講時期を1・2①～②から1・2②に変更。
- ・「開発の概念」の開講時期を1・2③～④から1・2①～②・③～④に変更。
- ・「社会調査法応用」の開講時期を1・2③から1・2年④に変更。

- ・「統計学基礎」の開講時期を1・2①から1・2②に変更。
- ・「有機農業と自然と社会Ⅰ」の担当教員を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担3」に変更。
- ・「有機農業と自然と社会Ⅱ」の担当教員を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担3」に変更。
- ・「課題解決型プログラムa」の開講時期を1・2①～②から、1・2③～④に変更。また、担当教員を「兼任・兼任1」より「兼任・兼担3」に変更。
- ・「課題解決型プログラムb」の開講時期を1・2③～④から、1・2①～②に変更。
- ・「科学技術と出会う」を基盤科目として開講。
- ・「地域金融×地域創生入門」を基盤科目として開講。
- ・「知的財産概説」を基盤科目として開講。
- ・「地域と出会い、働くことを考える」を基盤科目として開講。
- ・「消費者教育講座」を基盤科目として開講。
- ・「ダイバーシティ論入門」を基盤科目として開講。
- ・「SDGsと出会う」を基盤科目として開講。
- ・講義分担の変更により、「微積分学基礎Ⅰ」の担当教員を「教授1、助教1」から「教授1、准教授1」に変更。
- ・講義分担の変更により、「微積分学基礎Ⅱ」の担当教員を「教授1」から「教授1、准教授1」に変更。
- ・講義担当の変更により、「線形代数基礎」の講義担当を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の分担変更により、「ベクトル解析基礎」の担当を「兼任・兼担1」から「助教1、兼任・兼担1」に変更。
- ・講義担当者の分担変更により、「確率・統計基礎」の担当を「准教授1」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・講義担当者の分担変更により、「生物学基礎」の担当を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担3」に変更。
- ・講義分担の変更により、「理工学と現代社会」の担当教員を「教授1、兼任・兼担13」から「教授1、兼任・兼担11」に変更。
- ・講義内容の一部変更に伴い「エネルギー環境問題」の担当教員を「兼任・兼担3」から「兼任・兼担6」に変更。
- ・講義内容の一部見直しに伴い「現代社会概説」の担当を「兼任・兼担15」から「兼任・兼担2」に変更。
- ・講義内容の見直しにより「科学技術史」の担当を「兼任・兼担1」から「准教授3、兼任・兼担12」に変更。
- ・「情報倫理」の担当教員を「准教授1、兼任・兼担1」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・講義分担の変更により、「情報基礎」の担当教員を「准教授1、助教1」から「助教2」に変更。
- ・講義分担の変更により、「工学入門セミナー」の担当教員を「准教授1、助教1、兼任・兼担12」から「准教授2、兼任・兼担20」に変更。
- ・講義担当者の分担変更により「プログラミング演習」の担当を「教授1、助教1、兼任1」から「准教授1、兼任1」に変更。
- ・「応用数学Ⅰ」の担当を「教授1、助教1」から「助教1、兼任1」に変更。
- ・「複素関数」の開講時期を2③から2③～④に変更。
- ・講義分担の変更により、「工業力学」の担当教員を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・教員の異動、昇任等により、「機械工学・システムデザイン入門」の担当教員を「教授12、准教授7」から「教授11、准教授10」に変更。
- ・講義分担の変更により、「機械設計製図Ⅱ」の担当教員を「准教授1、助教1」から「准教授2」に変更。
- ・講義分担の変更により、「基礎流体力学」の担当教員を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・講義分担の変更により、「制御工学Ⅰ」の担当教員を「教授1、准教授1」から「教授1」に変更。
- ・教員の異動等により、「機械工学実験Ⅰ」の担当教員を「教授12、准教授7、助教10」から「教授11、准教授10、助教5」に変更。
- ・講義分担の変更により、「計測工学」の担当教員を「教授1」から「准教授1」に変更。また、開講時期を2②から2①に変更。
- ・「機械設計学」の開講時期を2③～④から2②に変更。
- ・「固体力学」の担当を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・教員の異動により、「機械工作実習」の担当を「教授1、准教授1」から「准教授1、助教1」に変更。
- ・教員の異動・昇任等により、「機械工学実験Ⅱ」の担当教員を「教授12、准教授7、助教10」から「教授11、准教授10、助教5」に変更。
- ・講義分担の変更により、「メカトロニクスシステム」の担当教員を「教授1」から「教授1、准教授1」に変更。
- ・講義分担の変更により、「伝熱工学」の担当教員を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・教員の異動により、「生産加工学」の担当を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・教員の昇任等により、「機械システムのモデリング」の担当を「教授1」から「教授1、准教授1」に変更。
- ・講義分担の変更により、「材料工学Ⅱ」の担当教員を「教授1、准教授1」から「兼任1」に変更。
- ・教員の異動により、「インターンシップ」の担当教員を「教授1、准教授1」から「准教授1」に変更。
- ・講義分担の変更により、「制御工学Ⅱ」の担当を「教授1、助教1」から「教授1」に変更。
- ・教員の異動により、「精密加工学」の担当を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・講義分担の変更により、「自動車工学」の担当を「准教授1」から「兼任1」に変更。
- ・教員の異動により、「生産システム」の担当を「教授1」から「准教授1」に変更。開講時期を3①から3④に変更。
- ・「マイクロ・ナノ加工学」を2単位の選択科目、担当を「准教授1、助教1」、開講時期を4年次の1タームに開講。
- ・教員の異動等により、「卒業研究A」の担当を「教授12、准教授7、助教10」から「教授11、准教授10、助教5」に変更。
- ・教員の異動等により、「卒業研究B」の担当を「教授12、准教授7、助教10」から「教授11、准教授10、助教5」に変更。
- ・教員の昇任、異動等により、「メカロボット論講」の担当を「教授6、准教授1、助教6」から「教授4、准教授5」に変更。
- ・教員の昇任、異動等により、「メカノサイエンス論講」の担当を「教授6、准教授1、助教6」から「教授7、准教授5、助教5」に変更。
- ・「社会的デザインプロセス論」の担当を「兼任・兼担1」から「兼任・兼任6」に変更。
- ・「社会的意思決定論」の担当を「兼任・兼担3」から「兼任1」に変更。
- ・「システムデザイン序論」の講義担当を「教授1」から「教授1・准教授1」に変更。
- ・「イノベーションとマーケティング」の講義担当を「教授1」から「兼任・兼担3」に変更。開講時期を2・3・4から2・3・4①・②に変更。
- ・講義内容の見直し等により、「産業創成論」の担当を「兼任・兼担15」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・講義内容の見直し等により、「技術者のための産業経営論」の担当を「兼任・兼担15」から「兼任・兼担3」に変更。
- ・「ものづくり創造演習」の担当を「教授1・兼任1」から「教授11、准教授10、助教5」に変更。
- ・教員の昇任、異動等により、「課題探索型セミナーⅠ」の担当を「教授12、准教授7、助教10」から「教授11、准教授10、助教5」に変更。
- ・教員の昇任、異動等により、「課題探索型セミナーⅡ」の担当を「教授12、准教授7、助教10」から「教授11、准教授10、助教5」に変更。
- ・講義担当者の分担変更により「課題解決型演習Ⅰ」の担当を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更。
- ・講義担当者の分担変更により「課題解決型演習Ⅱ」の担当を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更。

【令和4年度】

- ・講義分担の変更により、「英語Ⅰ (General English Skills 1a)」の担当教員等の配置を「兼任・兼任22」から「兼任・兼任20」に変更。
- ・講義分担の変更により、「英語Ⅰ (General English Skills 1b)」の担当教員等の配置を「兼任・兼任22」から「兼任・兼任20」に変更。
- ・講義分担の変更により、「英語Ⅰ (General English Skills 1c)」の担当教員等の配置を「兼任・兼任22」から「兼任・兼任20」に変更。
- ・講義分担の変更により、「英語Ⅰ (General English Skills 1d)」の担当教員等の配置を「兼任・兼任22」から「兼任・兼任20」に変更。
- ・講義分担の変更により、「英語Ⅰ (English for Specific Purposes 1a)」の担当教員等の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任6」に変更。
- ・講義分担の変更により、「英語Ⅰ (English for Specific Purposes 1b)」の担当教員等の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任6」に変更。
- ・講義分担の変更により、「英語Ⅰ (Basic English 1a)」の担当教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。開講時期を1①から1①・③に変更。
- ・講義分担の変更により、「英語Ⅰ (Basic English 1b)」の担当教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。開講時期を1②から1②・④に変更。
- ・講義分担の変更により、「英語Ⅱ (Academic English Skills 2a)」の担当教員等の配置を「兼任・兼任22」から「兼任・兼任19」に変更。
- ・講義分担の変更により、「英語Ⅱ (Academic English Skills 2b)」の担当教員等の配置を「兼任・兼任22」から「兼任・兼任19」に変更。
- ・講義分担の変更により、「英語Ⅱ (Academic English Skills 2c)」の担当教員等の配置を「兼任・兼任22」から「兼任・兼任19」に変更。
- ・講義分担の変更により、「英語Ⅱ (Academic English Skills 2d)」の担当教員等の配置を「兼任・兼任22」から「兼任・兼任19」に変更。
- ・講義分担の変更により、「英語Ⅱ (Academic Communication Skills 2a)」の担当教員を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。開講時期を2①から2①・③に変更。
- ・講義分担の変更により、「英語Ⅱ (Academic Communication Skills 2b)」の担当教員を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。開講時期を2②から2②・④に変更。
- ・講義分担の変更により、「英語Ⅱ (Academic Essay Writing 2a)」の担当教員を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。開講時期を2①から2①・③に変更。
- ・講義分担の変更により、「英語Ⅱ (Academic Essay Writing 2b)」の担当教員を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。開講時期を2②から2②・④に変更。
- ・講義分担の変更により、「英語Ⅱ (English for Specific Purposes 2a)」の担当教員等の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任6」に変更。
- ・講義分担の変更により、「英語Ⅱ (English for Specific Purposes 2b)」の担当教員等の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任6」に変更。
- ・講義分担の変更により、「英語Ⅱ (Basic English 2a)」の担当教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。開講時期を2③から2①・③に変更。
- ・講義分担の変更により、「英語Ⅱ (Basic English 2b)」の担当教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。開講時期を2④から2②・④に変更。
- ・「哲学概説」の開講時期を1・2①・④から1・2①・②に変更。担当教員を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任4」に変更。
- ・「宗教学概説」の開講時期を1・2②・③から1・2②・④に変更。
- ・「論理学概説」の開講時期を1・2②・③から1・2②・④に変更。担当教員を「兼任・兼任2」から「兼任1」に変更。
- ・「芸術概説」の担当教員を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任6」に変更。開講時期を1・2①・②から1・2①・②・③に変更。
- ・「日本史概説」の担当教員を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・「東洋史概説」の開講時期を1・2③・④から1・2①に変更。担当教員を「兼任・兼任2」から「兼任1」に変更。
- ・「西洋史概説」の開講時期を1・2①・④から1・2①に変更。担当教員を「兼任・兼任2」から「兼任1」に変更。
- ・「言語学概説」の担当教員を「兼任・兼任2」から「兼任1」に変更。
- ・「日本文学・文化概説」の開講時期を1・2①・②から1・2①・④に変更。担当教員を「兼任・兼任2」から「兼任1」に変更。
- ・「アジア文学・文化概説」の担当教員を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任3」に変更。開講時期を1・2①・②から1・2①・②・③に変更。
- ・「欧米文学・文化概説」の開講時期を1・2③から1・2①に変更。担当教員を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・「ことばと文化」の担当教員を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。また、開講時期を1・2②・③から1・2③に変更。
- ・「身体・スポーツ文化論入門」の担当教員を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。また、開講時期を1・2②・③から1・2④に変更。
- ・「国際関係論概説」の開講時期を1・2①・②から1・2③・④に変更。
- ・「政治学概説」の開講時期を1・2③・④から1・2①・②に変更。
- ・「開発援助概論」を「開発協力概論」に変更。
- ・「開発と援助の潮流」の開講時期を1・2①・②から1・2④に変更。
- ・「法学概説」の開講時期を1・2②・④から1・2①・②・③に変更。担当教員を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・「経済学概説」の開講時期を1・2②・③タームから1・2②タームに変更。
- ・「地理学概説」の担当教員を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。また、開講時期を1・2年①・③から1・2年③・④に変更。
- ・「会計学概説」の開講時期を1・2③④から1・2②・③に変更。
- ・「社会学概説」の開講時期を1・2①・③から1・2年①・④に変更。
- ・「心理学入門」の担当教員を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・「現代教育論」の担当教員を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。また、開講時期を1・2年②・③から1・2年③に変更。
- ・「現代発達科学入門」の担当教員を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・「教育臨床学入門」の担当教員を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・「社会調査法基礎」の開講時期を1・2①・②から1・2に変更。
- ・「統計学入門」の開講時期を1・2①・②から1・2②に変更。
- ・社会科学科目群「ジェンダー論入門」を、学際領域科目群「ジェンダー論入門」として開講。
- ・「教養物理学」の担当教員を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任14」に変更。
- ・「教養化学」の担当を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・「教養生物学」の担当教員を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・「科学で探る地球」の開講時期を1・2①から1・2③に変更。
- ・「工学と社会（機械系）」の講義名を「工学と社会（機械工学系）」に変更。担当教員を「教授11、准教授1」から「教授10、准教授3、兼任・兼任1」に変更。
- ・「工学と社会（電気電子系）」の講義名を「工学と社会（電気電子理工工学系）」に変更。また、開講数を年間1コマから2コマへ増加。担当教員を「兼任5」から「兼任10」に変更。
- ・「工学と社会（応用化学系）」の開講数を年間1コマから2コマへ増加。担当教員を「兼任1」から「兼任7」に変更。
- ・「工学と社会（環境社会デザイン系）」の開講数を年間1コマから2コマへ増加。開講時期を1・2③から1・2①・③に変更。
- ・「生活と技術」の担当教員を「兼任1」から「兼任・兼任9」に変更。
- ・「精神保健学」の開講時期を1・2②から1・2③に変更。
- ・「健康科学」の開講時期を1・2③から1・2④に変更。
- ・自然科学科目群「農学入門」を、学際領域科目群「農学入門」として開講。開講時期を1・2年次の④タームから1・2年次の②タームに変更。
- ・テーマ科目群「社会と出会う」の「宗教と出会う」を、AL科目群「AL2（宗教と出会う）」として開講。開講時期を1・2①から1・2④に変更。
- ・テーマ科目群「社会と出会う」の「多様な性」と出会う・大学と出会う1」を、AL科目群「AL2（「多様な性」と出会う）」として開講。
- ・テーマ科目群「社会と出会う」の「男女共同参画社会を考える・大学と出会う2」を、AL科目群「AL2（男女共同参画社会を考える）」として開講。
- ・テーマ科目群「社会と出会う」の「現代信仰論・大学と出会う4」を、AL科目群「AL2（現代信仰論）」として開講。
- ・テーマ科目群「社会と出会う」の「戦争の記憶・平和の思想」と出会う」を、学際領域科目群「戦争の記憶・平和の思想」と出会う」として開講。開講時期を1・2①～②から1・2②に変更。
- ・テーマ科目群「社会と出会う」の「NGOと出会う」を、学際領域科目群「NGOと出会う」として開講。
- ・テーマ科目群「社会と出会う」の「異なる文化と出会う」を、AL科目群「AL2（異なる文化と出会う）」として開講。
- ・テーマ科目群「社会と出会う」の「開発の概念」を、AL科目群「AL2（開発の概念）」として開講。開講時期を1・2③～④から1・2①・②、③・④に変更。
- ・テーマ科目群「社会と出会う」の「有機農業と自然と社会Ⅰ」を、学際領域科目群「有機農業と自然と社会Ⅰ」として開講。担当教員を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・テーマ科目群「社会と出会う」の「有機農業と自然と社会Ⅱ」を、学際領域科目群「有機農業と自然と社会Ⅱ」として開講。担当教員を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・テーマ科目群「社会と出会う」の「パーソナルファイナンス論」を、学際領域科目群「パーソナルファイナンス論」として開講。開講時期を1・2①～②から1・2③・④に変更。
- ・テーマ科目群「社会と出会う」の「課題解決型プログラムa」を、AL科目群「AL2（課題解決型プログラムa）」として開講。開講時期を1・2①～②から、1・2③～④に変更。担当教員を「兼任1」から「兼任2」に変更。

- ・テーマ科目群「社会と出会う」の「課題解決型プログラムb」を、A L科目群「A L 2（課題解決型プログラムb）」として開講。開講時期を1・2③～④から、1・2①～②に変更。
- ・テーマ科目群「社会と出会う」の「課題解決型長期インターンシップ」を、A L科目群「A L 2（課題解決型長期インターンシップ）」として開講。
- ・テーマ科目群「社会と出会う」の「地域創生を考えるa」を、学際領域科目群「地域創生を考えるa」として開講。
- ・テーマ科目群「社会と出会う」の「地域創生を考えるb」を、学際領域科目群「地域創生を考えるb」として開講。
- ・「プログラミング入門」を、学際領域科目群科目として開講。
- ・「ダイバーシティ論入門」を、学際領域科目群「ダイバーシティ論入門」として開講。
- ・「開発援助における環境」を、学際領域科目群科目として開講。
- ・「知的財産概説」を、学際領域科目群科目として開講。
- ・「科学技術と出会う」を、学際領域科目群「科学技術と出会う」として開講。
- ・「SDGsと出会う」を、学際領域科目群「SDGsと出会う」として開講。
- ・「地域金融×地域創生入門」を、学際領域科目群科目として開講。
- ・「消費者教育講座」を、学際領域科目群「消費者教育講座」として開講。
- ・「A L 2（地域と出会い、働くことを考える）」を、A L科目群科目として開講。
- ・講義分担の変更により、「微分積分学基礎Ⅰ」の担当教員を「教授1、助教1」から「教授1、准教授1」に変更。
- ・講義分担の変更により、「微分積分学基礎Ⅱ」の担当教員を「教授1」から「教授1、准教授1」に変更。
- ・講義担当の変更により、「線形代数基礎」の講義担当を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の分担変更により、「ベクトル解析基礎」の担当を「兼任・兼任1」から「助教1、兼任・兼任1」に変更。
- ・講義担当の変更により、「確率・統計基礎」の担当を「准教授1」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・「化学基礎」の開講時期を2①～②から2②に変更。担当教員を「兼任1」から「兼任2」に変更。
- ・講義担当の変更により、「生物学基礎」の担当を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任4」に変更。
- ・講義分担の変更により、「理工学と現代社会」の担当教員を「教授1、兼任・兼任13」から「教授2、兼任・兼任17」に変更。
- ・講義内容の一部変更に伴い「エネルギー環境問題」の担当教員を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任4」に変更。
- ・講義内容の一部見直しに伴い「現代社会概説」の担当を「兼任・兼任15」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・教員の昇任・異動等により、「科学技術史」の担当を「兼任・兼任1」から「教授1、准教授2、兼任・兼任11」に変更。
- ・講義分担の変更により、「情報倫理」の担当教員を「准教授1、兼任・兼任1」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・講義分担の変更により、「工学入門セミナー」の担当教員を「准教授1、助教1、兼任・兼任12」から「准教授2、兼任・兼任22」に変更。
- ・講義分担の変更により、「微分方程式Ⅰ」の担当教員を「助教1、兼任・兼任1」から「准教授1、助教1」に変更。
- ・講義担当の変更により「情報処理概論」の担当を「兼任1」から「准教授1」に変更。
- ・講義担当の変更により「プログラミング演習」の担当を「教授1、助教1、兼任1」から「准教授1」に変更。
- ・「応用数学Ⅰ」の担当を「教授1、助教1」から「助教1、兼任1」に変更。
- ・「複素関数」の開講時期を2③から2③～④に変更。
- ・講義分担の変更により、「数値解析Ⅰ」の担当教員を「准教授1、助教1」から「教授1、助教1」に変更。
- ・科目区分の変更により「学科専門科目(D4群)D4a」の「工業力学」を、「学科専門科目(D4群)」「工業力学」に変更。講義分担の変更により、担当教員を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・科目区分の変更により「学科専門科目(D4群)D4a」の「材料力学Ⅰ」を、「学科専門科目(D4群)」「材料力学Ⅰ」に変更。
- ・科目区分の変更により「学科専門科目(D4群)D4a」の「機械工学・システムデザイン入門」を、「学科専門科目(D4群)」「機械工学・システムデザイン入門」に変更。教員の異動、昇任等により、担当教員を「教授12、准教授7」から「教授13、准教授8」に変更。
- ・科目区分の変更により「学科専門科目(D4群)D4a」の「機構学」を、「学科専門科目(D4群)」「機構学」に変更。
- ・科目区分の変更により「学科専門科目(D4群)D4a」の「機械設計製図Ⅰ」を、「学科専門科目(D4群)」「機械設計製図Ⅰ」に変更。
- ・科目区分の変更により「学科専門科目(D4群)D4a」の「機械設計製図Ⅱ」を、「学科専門科目(D4群)」「機械設計製図Ⅱ」に変更。講義分担の変更により、担当教員を「准教授1、助教1」から「准教授2」に変更。
- ・科目区分の変更により「学科専門科目(D4群)D4a」の「熱力学Ⅰ」を、「学科専門科目(D4群)」「熱力学Ⅰ」に変更。
- ・科目区分の変更により「学科専門科目(D4群)D4a」の「基礎流体力学」を、「学科専門科目(D4群)」「基礎流体力学」に変更。講義分担の変更により、担当教員を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・科目区分の変更により「学科専門科目(D4群)D4a」の「制御工学Ⅰ」を、「学科専門科目(D4群)」「制御工学Ⅰ」に変更。講義分担の変更により、担当教員を「教授1、准教授1」から「教授1」に変更。
- ・科目区分の変更により「学科専門科目(D4群)D4a」の「機械工学実験Ⅰ」を、「学科専門科目(D4群)」「機械工学実験Ⅰ」に変更。教員の異動等により、担当教員を「教授12、准教授7、助教10」から「教授13、准教授9、助教5」に変更。
- ・科目区分の変更により「学科専門科目(D4群)D4a」の「材料力学Ⅱ」を、「学科専門科目(D4群)」「材料力学Ⅱ」に変更。開講時期を2①から2①②に変更。
- ・科目区分の変更により「学科専門科目(D4群)D4a」の「機械力学」を、「学科専門科目(D4群)」「機械力学」に変更。
- ・科目区分の変更により「学科専門科目(D4群)D4a」の「計測工学」を、「学科専門科目(D4群)」「計測工学」に変更。講義分担の変更により、担当教員を「教授1」から「准教授1」に変更。また、開講時期を2②から2①に変更。
- ・科目区分の変更により「学科専門科目(D4群)D4a」の「機械設計学」を、「学科専門科目(D4群)」「機械設計学」に変更。開講時期を2③～④から2②に変更。
- ・科目区分の変更により「学科専門科目(D4群)D4a」の「材料工学Ⅰ」を、「学科専門科目(D4群)」「材料工学Ⅰ」に変更。
- ・科目区分の変更により「学科専門科目(D4群)D4a」の「固体力学」を、「学科専門科目(D4群)」「固体力学」に変更。担当を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・科目区分の変更により「学科専門科目(D4群)D4a」の「熱力学Ⅱ」を、「学科専門科目(D4群)」「熱力学Ⅱ」に変更。
- ・科目区分の変更により「学科専門科目(D4群)D4a」の「機械工作実習」を、「学科専門科目(D4群)」「機械工作実習」に変更。開講時期を3③～④から3①～②、③～④に変更。
- ・科目区分の変更により「学科専門科目(D4群)D4a」の「機械工学実験Ⅱ」を、「学科専門科目(D4群)」「機械工学実験Ⅱ」に変更。教員の異動・昇任等により、担当教員を「教授12、准教授7、助教10」から「教授13、准教授9、助教5」に変更。
- ・科目区分の変更により「学科専門科目(D4群)D4a」の「メカトロニクスシステム」を、「学科専門科目(D4群)」「メカトロニクスシステム」に変更。講義分担の変更により、担当教員を「教授1」から「教授1、准教授1」に変更。
- ・科目区分の変更により「学科専門科目(D4群)D4a」の「伝熱工学」を、「学科専門科目(D4群)」「伝熱工学」に変更。講義分担の変更により、担当教員を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・科目区分の変更により「学科専門科目(D4群)D4a」の「流体力学」を、「学科専門科目(D4群)」「流体力学」に変更。
- ・科目区分の変更により「学科専門科目(D4群)D4a」の「生産加工学」を、「学科専門科目(D4群)」「生産加工学」に変更。
- ・科目区分の変更により「学科専門科目(D4群)D4a」の「機械システムのモデリング」を、「学科専門科目(D4群)」「機械システムのモデリング」に変更。教員の昇任等により、担当を「教授1」から「教授1、准教授1」に変更。
- ・科目区分の変更により「学科専門科目(D4群)D4a」の「機械運動学」を、「学科専門科目(D4群)」「機械運動学」に変更。
- ・科目区分の変更により「学科専門科目(D4群)D4a」の「材料工学Ⅱ」を、「学科専門科目(D4群)」「材料工学Ⅱ」に変更。講義分担の変更により、担当教員を「教授1、准教授1」から「教授1」に変更。
- ・科目区分の変更により「学科専門科目(D4群)D4a」の「インターンシップ」を、「学科専門科目(D4群)」「インターンシップ」に変更。教員の異動により、担当教員を「教授1、准教授1」から「教授1」に変更。
- ・科目区分の変更により「学科専門科目(D4群)D4a」の「機械システム解析」を、「学科専門科目(D4群)」「機械システム解析」に変更。
- ・科目区分の変更により「学科専門科目(D4群)D4a」の「機械振動・音工学」を、「学科専門科目(D4群)」「機械振動・音工学」に変更。
- ・科目区分の変更により「学科専門科目(D4群)D4a」の「制御工学Ⅱ」を、「学科専門科目(D4群)」「制御工学Ⅱ」に変更。講義分担の変更により、担当を「教授1、助教1」から「教授1」に変更。
- ・科目区分の変更により「学科専門科目(D4群)D4a」の「応用流体力学」を、「学科専門科目(D4群)」「応用流体力学」に変更。
- ・科目区分の変更により「学科専門科目(D4群)D4a」の「精密加工学」を、「学科専門科目(D4群)」「精密加工学」に変更。
- ・科目区分の変更により「学科専門科目(D4群)D4a」の「自動車工学」を、「学科専門科目(D4群)」「自動車工学」に変更。講義分担の変更により、担当を「准教授1」から「兼任1」に変更。
- ・科目区分の変更により「学科専門科目(D4群)D4a」の「生産システム」を、「学科専門科目(D4群)」「生産システム」に変更。開講時期を3①から3④に変更。
- ・「マイクロ・ナノ加工学」を、「学科専門科目(D4群)」として開講。
- ・科目区分の変更により「学科専門科目(D4群)D4a」の「卒業研究A」を、「学科専門科目(D4群)」「卒業研究A」に変更。教員の異動等により、担当を「教授12、准教授7、助教10」から「教授13、准教授9、助教5」に変更。

- ・科目区分の変更により「学科専門科目(D4群)D4a」の「卒業研究B」を、「学科専門科目(D4群)」「卒業研究B」に変更。教員の異動等により、担当を「教授12、准教授7、助教10」から「教授13、准教授9、助教5」に変更。
- ・科目区分の変更により「学科専門科目(D4群)D4b」の「メカノロボット論講」を、「学科専門科目(D4群)」「メカノロボット論講」に変更。教員の昇任、異動等により、担当を「教授6、准教授1、助教6」から「教授4、准教授5」に変更。
- ・科目区分の変更により「学科専門科目(D4群)D4b」の「メカノサイエンス論講」を、「学科専門科目(D4群)」「メカノサイエンス論講」に変更。教員の昇任、異動等により、担当を「教授6、准教授1、助教6」から「教授9、准教授4、助教4」に変更。
- ・「社会的デザインプロセス論」の担当を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任6」に変更。
- ・「社会的意思決定論」の担当を「兼任・兼任3」から「兼任1」に変更。
- ・「システムデザイン序論」の講義担当を「教授1」から「教授1・准教授1」に変更。
- ・「イノベーションとマーケティング」の講義担当を「教授1」から「兼任・兼任2」に変更。開講時期を2・3・4から2・3・4①・②に変更。
- ・講義内容の見直し等により、「産業創成論」の担当を「兼任・兼任15」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・講義内容の見直し等により、「技術者のための産業経営論」の担当を「兼任・兼任15」から「兼任・兼任3」に変更。開講時期を2・3・4①～②から2・3・4③～④に変更。
- ・教員の昇任・異動等により、「ものづくり創造演習」の担当を「教授1、兼任1」から「教授13、准教授9、助教5」に変更。
- ・教員の昇任、異動等により、「課題探索型セミナーⅠ」の担当を「教授12、准教授7、助教10」から「教授13、准教授9、助教5」に変更。
- ・教員の昇任、異動等により、「課題探索型セミナーⅡ」の担当を「教授12、准教授7、助教10」から「教授13、准教授9、助教5」に変更。
- ・講義分担任の変更により、「課題解決型演習Ⅰ」の担当を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・卒業要件及び履修方法
「(人文学科目群から4単位、社会科学科目群から4単位を修得すること)」を、「(人文学科目群から4単位、社会科学科目群から4単位、学際領域科目群またはAL科目群から2単位を修得すること)」に変更。
- (3)「D2群から必修科目を含めて8単位を修得すること。」を「D2群から8単位を修得すること。」に変更。
- (5)「D4群D4a分野から50単位、D4群D4b分野から1単位を修得すること。」を「D4群から50単位を修得すること。」に変更。
- (6)「D6群から必修科目を含めて10単位を修得すること。」を「D6群から10単位を修得すること。」に変更。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
18 科目	154 科目	5 科目	177 科目	18 科目 [0]	160 科目 [6]	5 科目 [0]	183 科目 [6]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	政治と出会う・大学と出会う3	2	1・2	一般	選択	担当教員異動、代替措置なし
2	課題解決型短期インターンシップ	1	1・2	一般	選択	科目統合につき廃止、代替措置なし
3	ソーシャルデザイン演習	2	2・3・4	専門	選択	科目統合につき廃止、代替措置なし
4	福祉と出会う	2	1・2	一般	選択	担当教員異動、代替措置なし

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

科目廃止についてはシラバス等でその旨を周知している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{4}{177} = \boxed{2.25}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	無償譲受(11㎡)のため(3)		
	校舎敷地	167,509 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	167,509 ㎡			
	運動場用地	95,531 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	95,531 ㎡			
	小 計	263,040 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	263,040 ㎡			
	そ の 他	131,515 131,504 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	131,515 131,504 ㎡			
	合 計	394,555 394,544 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	394,555 394,544 ㎡			
(2) 校舎	専 用	140,745 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	140,745 ㎡			
	(140,745 ㎡)	(0 ㎡)	(0 ㎡)	(140,745 ㎡)				
(3) 教室等	講義室		演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 建物改修のため(元) 建物改修のため(2) 改修のため(3) 改修のため(4)	
	92 93 室	93 87 82 87 室	270 279 282 274 275 室	4 室 (補助職員 0 人)	2 室 (補助職員 0 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	工学部 機械工学・システムデザイン学科			28 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学科単位での特定不能のため、大学全体の数
	工学部 機械工学・システムデザイン学科	(907,433 [277,528])	(22,268 [5,574])	(13,754 [13,743])	(2,509)	(4,789)	(0)	
	計	(907,433 [277,528])	(22,268 [5,574])	(13,754 [13,743])	(2,509)	(4,789)	(0)	
(6) 図書館	面 積		閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数		大学全体 利用者の利便性の向上のため(元) 学生への参考図書展示書架増設のため(2) 書架増設のため(4)	
	8,439 ㎡		911 919		911,639 911,944 917, 969			
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体	
	4,474 ㎡		野球場		テニスコート 他			
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員 1 人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生 1 人当り納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第 2 号(その 1 の 1) に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目は AC 対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和 4 年 5 月 1 日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(4)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	埼玉大学						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
教養学部						1.06	1.05			埼玉県さいたま市桜区下大久保255	
教養学科	4	160	3年次30	700	学士(教養)	1.06	1.05	—	昭和40		
経済学部										同上	
経済学科(昼間コース)	4	280	3年次10	1,140	学士(経済学)	1.06	1.06	—	平成27		
経済学科(夜間主コース)	4	15	—	60	学士(経済学)	1.04	1.13	—	平成27		
教育学部						1.02	1.02			同上	
学校教育教員養成課程	4	360	—	1,440	学士(教育学)	1.02	1.03	—	平成11		
養護教諭養成課程	4	20	—	80	学士(教育学)	1.02	1.00	—	平成18		
理学部						1.04	1.05			同上	
数学科	4	40	—	160	学士(理学)	1.09	1.10	—	平成7		
物理学科	4	40	—	160	学士(理学)	1.04	1.10	—	平成7		
基礎化学科	4	50	—	200	学士(理学)	1.01	1.06	—	平成7		
分子生物学科	4	40	—	160	学士(理学)	1.03	1.00	—	平成7		
生体制御学科	4	40	—	160	学士(理学)	1.03	1.02	—	平成7		
工学部						1.02	1.02			同上	
機械工学・システムデザイン学科	4	110	—	440	学士(工学)	1.03	1.06	—	平成30		
電気電子物理工学科	4	110	—	440	学士(工学)	1.00	0.98	—	平成30		
情報工学科	4	80	—	320	学士(工学)	1.04	1.06	—	平成30		
応用化学科	4	90	—	360	学士(工学)	1.02	1.00	—	平成30		
環境社会デザイン学科	4	100	—	400	学士(工学)	1.01	1.01	—	平成30		
大学全体	—	1,535	40	6,220	—	—	—	—	—	—	

大学の名称	埼玉大学大学院						学生募集停止学科数	9	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考		
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地			
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度				
人文社会科学研究所 (博士前期課程) 文化環境専攻	2	20	—	40	修士 (学術)	0.90 0.75	0.75 0.65	—	平成27	埼玉県さいたま市 桜区下大久保255			
国際日本アジア専攻	2	38	—	76	修士 (学術) (経済学)	0.95	0.73	—	平成27				
経済経営専攻	2	22	—	44	修士 (経済学) (経営学)	0.95	0.86	—	平成27				
(博士後期課程) 日本アジア文化専攻	3	4	—	12	博士 (学術)	1.06 1.08	1.06 1.00	—	平成27				
経済経営専攻	3	12	—	36	博士 (経済学) (経営学)	1.05	1.08	—	平成27				
教育学研究所 (修士課程) 学校教育専攻	2	—	—	—	修士 (教育学)	—	—	—	平成2	同上	令和3年度より 学生募集停止 令和3年度より 学生募集停止		
教科教育専攻	2	—	—	—	修士 (教育学)	—	—	—	平成2				
(専門職学位課程) 教職実践専攻	2	52	—	104	教職修士 (専門職)	0.96 0.96	1.03 1.03	—	令和3	同上	令和3年度より 学生募集停止		
教職実践専攻	2	—	—	—	教職修士 (専門職)	—	—	—	平成28				
理工学研究科 (博士前期課程) 生命科学専攻	2	55	—	55	修士 (理学)	1.09 0.85	1.09 0.85	—	令和4	同上			
物質科学専攻	2	114	—	114	修士 (理学) (工学)	1.07	1.07	—	令和4				
数理電子情報専攻	2	142	—	142	修士 (理学) (工学)	1.19	1.19	—	令和4				
機械科学専攻	2	70	—	70	修士 (工学)	1.24	1.24	—	令和4				
環境社会基盤専攻	2	55	—	55	修士 (工学)	0.92	0.92	—	令和4				
生命科学系専攻	2	—	—	—	修士 (理学)	—	—	—	平成18				
物理機能系専攻	2	—	—	—	修士 (理学) (工学)	—	—	—	平成18				
化学系専攻	2	—	—	—	修士 (理学) (工学)	—	—	—	平成18				
数理電子情報系専攻	2	—	—	—	修士 (理学) (工学)	—	—	—	平成18				
機械科学系専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	—	—	平成18				
環境システム工学系専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	—	—	平成18				
(博士後期課程) 理工学専攻	3	56	—	168	博士 (学術) (理学) (工学)	0.76 0.76	0.25 0.25	—	平成18				
大学院全体	—	640	—	916	—	—	—	—	—			—	—

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学、大学院、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください(専攻科及び別科を除く)。
・学部・学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・小島助教就任辞退により、後任未定であるが、専任教員採用で公募予定。
- ・平成30年4月より、阿部壮志助教着任。
- ・平成30年4月より、姜 東赫助教着任。

【令和元年度】

- ・平成31年4月より、山田典靖 助教着任。
- ・平成31年4月より、成澤慶宣 助教着任。
- ・平成31年3月31日付け、堀尾健一郎教授、定年退職。後任未定であるが、専任教員を公募予定。
- ・平成31年3月31日付け、内山豊美助教、定年退職。後任未定であるが、専任教員を公募予定。

【令和2年度】

令和2年3月31日付け、山口大介助教、辞任。後任未定であるが、専任教員を公募予定。

【令和3年度】

- ・令和3年3月31日付け、水野毅教授、定年退職。後任未定であるが、専任教員を公募予定。

【令和4年度】

- ・令和4年4月より、大澤優輔 助教着任。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和2年度開設であれば令和元年度）の表は削除せず、斜線を入れてください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
9	5
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計（A）	助手（A'）	教授	准教授	講師	助教	計（B）	助手（B'）
12	10	0	7	29	0	13	9	0	5	27	0
(12)	(8)	(0)	(8)	(28)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計（C）	助手（C'）	教授	准教授	講師	助教	計（D）	助手（D'）
13	9	0	5	27	0	13	11	0	7	31	0
[1]	[Δ1]	[0]	[Δ2]	[Δ2]	[0]	[1]	[1]	[0]	[0]	[2]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{27}{29} = \boxed{93.1} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況（B）}} = \frac{0}{27} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C'）}}{\text{設置時の計画（A'）}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1	助教	小島 一恭	H30.3	必修	機械工学実験Ⅰ	①	H30.3 他大学へ転出のため就任辞退（30）			
				必修	機械工学実験Ⅱ	①				
				必修	卒業研究A	①				
				必修	卒業研究B	①				
合計（D）					後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
1	人	必修	4	科目	必修	4	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	4	科目	計	4	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1	助教	山口 大介	R2.3	必修	工学入門セミナー	①	R2.3 他大学へ転出のため辞任（2）			
				選択	プログラミング演習	①				
				必修	機械工学実験Ⅰ	①				
				必修	機械工学実験Ⅱ	①				
				必修	卒業研究A	①				
				必修	卒業研究B	①				
				選択	メカノロボット輪講	①				
				必修	課題探索型セミナーⅠ	①				
				選択	課題探索型セミナーⅡ	①				
合計（F）					後任補充状況の集計（G）					
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
1	人	必修	6	科目	必修	6	科目	必修	0	科目
		選択	3	科目	選択	3	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	9	科目	計	9	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（D）+（F）					後任補充状況の集計（E）+（G）					
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
2	人	必修	10	科目	必修	10	科目	必修	0	科目
		選択	3	科目	選択	3	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	13	科目	計	13	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-(3)合計(D)+(F)}{(2)-(2)設置時の計画(A)} = \frac{2}{29} = 6.89\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和3年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
1	教授	堀尾 健一郎	選択	機械工学・システムデザイン入門	①	H31.3.31付け65歳で定年退職(元)						
			必修	機械工学実験Ⅰ	①							
			必修	機械工学実験Ⅱ	①							
			必修	卒業研究A	①							
			必修	卒業研究B	①							
			必修	機械工作実習	①							
			選択	メカノサイエンス輪講	①							
			選択	生産加工学	①							
			選択	精密加工学	①							
			選択	インターンシップ	①							
			自由	工学と社会(機械工学系)	①							
			選択	現代社会概説	①							
2	助教	内山 豊美	必修	工学入門セミナー	①	H31.3.31付け65歳で定年退職(元)						
			必修	材料力学Ⅰ	①							
			必修	機械工学実験Ⅰ	①							
			必修	機械工学実験Ⅱ	①							
			必修	卒業研究A	①							
			必修	卒業研究B	①							
			選択	材料力学Ⅱ	①							
			選択	メカノサイエンス輪講	①							
			選択	応用数学Ⅰ	②							
			選択	機械工学・システムデザイン入門	①							
自由	工学と社会(機械工学系)	②										
3	教授	水野 毅	必修	機械工学実験Ⅰ	①	R3.3.31付け65歳で定年退職(3)						
			必修	機械工学実験Ⅱ	①							
			必修	制御工学Ⅰ	①							
			選択	制御工学Ⅱ	①							
			必修	卒業研究A	①							
			必修	卒業研究B	①							
			選択	メカノロボット輪講	①							
			必修	課題探索型セミナーⅠ	①							
			選択	課題探索型セミナーⅡ	①							
			合計				後任補充状況の集計					
			辞任した教員数	担当科目数の合計(a)+(b)+(c)			①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
			3	人	必修		17	科目	必修	17	科目	必修
選択	13	科目			選択	12	科目	選択	1	科目		
自由	2	科目			自由	1	科目	自由	1	科目		
計	32	科目			計	30	科目	計	2	科目		

(注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>講義については、その分野の講義を充分担当する能力のある適切な専任教員に交代しており、教育上の問題は無い。また、担当教員の交代については、時間割(冊子体)、webシラバス、学生ポータルサイトの掲示等により、学生に周知している。また、①②タームおよび③④タームの開始時には、ガイダンスを実施して学生に周知している。</p>
--

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和3年)	専任教員数が設置計画から減少しているため、提示された教員の採用計画を確実に履行するよう努めること。 (工学部機械工学・システムデザイン学科)	指摘事項 (改善)	履行中
		令和3年度は、令和4年4月1日付け採用の教授2名、准教授1名、助教1名の公募を行った。 教授2名(2件)の公募にあつては、それぞれ本学の機械工学・システムデザイン学科の専任教員(准教授)が、准教授1名の公募にあつては、同学科の専任教員(助教)が選考され、いずれも令和4年4月1日付け昇任した。また助教1名については令和4年4月1日付けで採用することで対応した。 この昇任に伴い空席となる2つのポストの利用計画については、専任教員の充足率の改善に向け検討し、学内手続、公募、審査、審議、上申の各期間の確保から令和5年4月1日付け採用を目途とした。 なお、教育研究については、他の専任教員が分担して担当しており、支障はない。	昇任して欠員となっている准教授1名及び助教1名を、さらに学内の教員ポスト再配分による准教授(若しくは助教)及び助教(各1)を幅広く公募し、令和4年10月1日乃至令和5年4月1日付け採用人事を進める。

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<工学部 機械工学・システムデザイン学科>

(1) 設置計画変更事項等 該当なし

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 学部長、副学部長、各学科より選出された1名の委員からなる工学部FD部会を設置。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 年2回開催</p> <p>c 委員会の審議事項等 FD活動に関する年間実施計画の策定。学生の授業評価アンケートに基づいたベストレクチャー賞受賞教員の選定</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教員相互の授業参観（オープンクラス）実施 ・ FDに関連した外部講師による講演会の実施 ・ ベストレクチャー賞受賞教員によるワンポイントアドバイス ・ 新任教員のための研修会（埼玉大学として全教員に実施） <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 工学部全教員を対象とした授業参観およびFDシンポジウム開催 <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業参観、FDシンポジウムに90%以上の教員が参加 <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業評価の低い教員に対して、学科長が改善のための面談を実施。 <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期</p> <p>①②タームの講義に対しては任意のアンケートを実施。 ③④タームの講義については全講義に対してwebを使ったアンケートを実施。</p> <p>b 教員や学生への公開状況、方法等 学生による授業評価結果を講義担当教員へ配布。</p>

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項 該当なし

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

(5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

b 委員会の開催状況(回数や開催日など)

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

記入例)

- ・ 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
- ・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

「改組5年目である本年度においては、予定していた開講科目のうち4科目を開講できなかったものの、そのうち3科目は基盤科目（教養教育科目）であり代替科目も多数あることから教育上の問題はなかった。開講できなかった専門科目一つは内容の重複を整理して科目を統廃合したためであり予定した教育内容は担保されているため、専門教育においても教育効果に問題はなかった。加えて、全学科必修の共通プログラムとして導入した「イノベーション人材育成プログラム」については、機械工学・システムデザイン学科の全学生が卒業に必要な10単位を順調に修得できていた。また、当該プログラムで開講している文理融合型科目は、いずれも授業評価において学生から高い評価を得ており、計画時の予想を越えた高い教育効果が得られているものと判断した。」

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和4年10月頃 公表

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定（令和4年10月頃を予定）

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

・令和5年度に評価機関（独立行政法人 大学改革支援・学位授与機構）の評価を受ける予定

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和4年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

≪ aで「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

≪ aで公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。